

Advanced Printer Driver Ver.4

導入ガイド

概要

APDの概要、動作環境について説明します。

インストールとセットアップ

APDのインストールからプリンターで印刷できるまでを説明します。

サイレントインストール

サイレントインストールについて説明します。



ご注意

- ・本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- ・本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- ・本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ・運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

EPSON®、ESC/POS® はセイコーホームエプソン株式会社の登録商標です。

MS-DOS®、Microsoft®、Win32®、Windows®、Windows Vista®、Windows Server®、Visual Studio®、Visual Basic®、Visual C++®、Visual C#® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

ESC/POS® コマンドシステム

EPSON は、独自の POS プリンターコマンドシステム ESC/POS により、業界のイニシアチブをとってきました。 ESC/POS は特許取得済のものを含む数多くの独自のコマンドを持ち、高い拡張性で多才な POS システムの構築を実現します。EPSON POS プリンター(TM-C100 を除く)とディスプレイの全タイプに互換性を持つほか、この独自の制御システムにはフレキシビリティもあるため、将来アップグレードが行ないやすくなります。その機能と利便性は世界中で評価されています。

安全のために

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

注意

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。

参考

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本書について

本書の目的

本書は、EPSON の TM プリンターおよびカスタマディスプレイの Windows ドライバー (Advanced Printer Driver) の導入に必要な情報を提供することを目的としています。

本書の構成

本書は次のように構成されています。

- 第 1 章 概要
- 第 2 章 インストールとセットアップ
- 第 3 章 サイレントインストール

もくじ

■ 安全のために.....	3
記号の意味.....	3
■ 使用制限	3
■ 本書について.....	3
本書の目的.....	3
本書の構成.....	3
■ もくじ	4

概要.....5

■ はじめに	5
パッケージ構成.....	5
マニュアル構成.....	6
■ 動作環境	7
コンピューター	7
OS	7
インターフェース	8
アプリケーション	8
■ サポート機種.....	8
■ 接続パターン.....	9
接続ケーブル.....	10
■ OSによる記述の違い.....	11
■ 制限事項	12
■ マニュアル / サンプルプログラム.....	13
インストール.....	13
アンインストール.....	14

インストールとセットアップ....15

APD 2.xx, 3.xx からアップグレードの注意.....	15
APD 4.5xx 以後の APD と他のドライバー / ユーティリティの共存について	15
■ インストールの種類.....	16
■ 最小インストール.....	17
インストールの流れ.....	17
インストール.....	17
TM プリンターの接続.....	23
テストページの印刷.....	25

■ スタンダードインストール.....	26
インストールの流れ.....	26
インストール.....	26
■ アンインストール.....	32
■ カスタムインストール.....	33
インストールの流れ.....	33
インストール.....	33
■ TM プリンターにカスタマディスプレイを接続する場合	38
インストールの流れ.....	38
パススルー接続のインストール.....	38
Y 接続のインストール.....	41
デバイスの接続.....	45
テスト印刷 / 表示	46
■ プラグアンドプレイ	47
インストールの流れ.....	47
TM プリンターの接続.....	47
プリンタードライバーのインストール.....	48
■ 共有プリンター	49
インストール.....	49
アンインストール.....	52
■ インストール後のメンテナンス	55
プリンタードライバーの追加.....	55
プリンタードライバーの削除.....	58
TM プリンターを置き換える.....	59
TM プリンターに IP アドレスを設定する.....	60
プリンタードライバーのポート設定を変更	62
APD をアップグレードインストールする.....	64

サイレントインストール.....67

■ サイレントインストールとは?	67
サイレントインストールの流れ.....	68
■ コピーする APD 環境の設定	68
APD の設定.....	68
■ パッケージ / スクリプトファイルの作成	69
■ サイレントインストールの実行	72
サイレントインストール方法.....	72
インストール結果の確認.....	72
コマンドオプション	73

概要

はじめに

Advanced Printer Driver (以降 APD) は、EPSON の TM プリンターおよびカスタマディスプレイの Windows ドライバーです。カスタマディスプレイは印刷と同様の操作で表示させることができます。

APD は、POS 組み込み用途向けに、Status API で TM プリンターのステータスを監視することができます。なお、カスタマディスプレイは対応していません。

すでにセットアップされている APD の環境を、他のコンピューターに復元 (サイレントインストール) できます。

コンピューターに接続されたローカルプリンターを、OS のネットワーク機能によって共有プリンター (Point & Print) として使用できます。

パッケージ構成

APD は以下のパッケージで構成されています。

APD インストーラー (APD_4xxJ.exe)

APD をインストールするパッケージです。

マニュアル / サンプルインストーラー (APDMANJ_x.exe)

APD のマニュアル、APD を使ったサンプルプログラムをインストールするパッケージです。
マニュアルは PDF ファイル形式です。

マニュアル構成

導入ガイド

本書です。APD をインストールしてテスト印刷をする（カスタマディスプレイは文字の表示）まで、プリンタードライバーの追加、ポートの変更、APD を自動的にインストールするサイレントインストールを説明しています。

設定ガイド プリンター編

APD の使用方法と機能を説明しています。

設定ガイド プリンター仕様一覧表

各プリンタードライバーの仕様を説明しています。

設定ガイド TM-C100 編

TM-C100 用プリンタードライバーの使用方法と機能を説明しています。

設定ガイド カスタマディスプレイ編

カスタマディスプレイ用プリンタードライバーの使用方法と機能を説明しています。

Status API ガイド

Status API を使い、お客様のアプリケーションで TM プリンターのステータスを取得する方法について説明しています。

Devmode API / PRINTERINFO ガイド

Devmode API を使い、お客様のアプリケーションでプリンターの一部の機能を設定する方法について説明しています。また Windows の機能の PRINTERINFO について説明しています。

動作環境

コンピューター

下記 Windows システム (OS) が動作する、PC/AT 互換機

OS

- Microsoft Windows 7 SP1 (32bit/64bit)
- Microsoft Windows Vista SP2 (32bit/64bit) 日本語版
- Microsoft Windows XP Professional SP3 (32bit) 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 R2 SP2 (32bit/64bit)
- Microsoft Windows Server 2008 SP2 (32bit/64bit)
- Microsoft Windows Server 2008 R2

Windows Server 2003/2008 環境では、以下のサービス / ソフトウェアをサポートしています。

ターミナルサービス

Citrix XenApp5.0

- Microsoft Windows Embedded 7 (32bit/64bit)
- Microsoft Windows Embedded POSReady 7
- Microsoft Windows Embedded POSReady 2009
- Microsoft Windows Embedded for Point of Service 1.1 (32bit)
- Microsoft Windows Embedded Standard (32bit) / Microsoft Windows XP Embedded SP2 (32bit)

以下のコンポーネントが必要です。

Volume Shadow Copy Service

System Restore Core

OLE Dialog Interfaces

Local Printing Support

Task Scheduler (USB ドライバーをインストールする場合に必要です。)

Primitive: DbgHelp (USB ドライバーをインストールする場合に必要です。)

Communications Port (コンピューターにシリアル / パラレルポートがない場合は手動で組み込む必要があります。)

Primitive: Winhlp32 (ヘルプを参照する場合に必要です。)

上記のコンポーネントを追加後、Windows XP Embedded を構成するユーティリティ (Target Designer) を使用して、コンポーネントの依存性チェックを行ってください。詳細は OS の入手先にお問い合わせください。

参考

上記以外の OS はサポートしておりません。

インターフェース

APD は以下のインターフェースをサポートしています。

インターフェース	補足
パラレル	-
シリアル	-
USB	USB 2.0 準拠 (Full-Speed 12M の動作となります。Hi-Speed では動作しません。)
Ethernet	10/100 Base-T
無線 LAN	IEEE 802.11b (IP アドレス設定は無線 LAN インタフェースボード (UB-R02A/R03A) 詳細取扱説明書をご覧ください。)

TM プリンターの中には、カスタマディスプレイヤやドロワーの専用インターフェースを実装できる機種があります。
TM プリンターとインターフェースの組み合わせについては、ご購入元までお問い合わせください。

アプリケーション

Windows アプリケーションから印刷できます。市販のワープロ / 表計算などのアプリケーションからプログラミングしなくとも印刷できます。

用紙なしやエラーなどの TM プリンター情報をアプリケーションで取得したい場合には、Status API を使用します。
この場合はお客様にてアプリケーションを開発していただく必要があります。

サポート 機種

APD 4.xx は以下の機種をサポートしています。

DM-D110/120/210	DM-D500	TM-C100	TM-H5000II
TM-H6000II	TM-H6000III	TM-J2000/2100	TM-L60II
TM-L90	TM-L90Peeler	TM-T285	TM-T20
TM-T70	TM-T88III	TM-T88IV	TM-T88V
TM-T90	TM-T90KP	TM-U220	TM-U295
TM-U590	TM-U675	TM-U950	

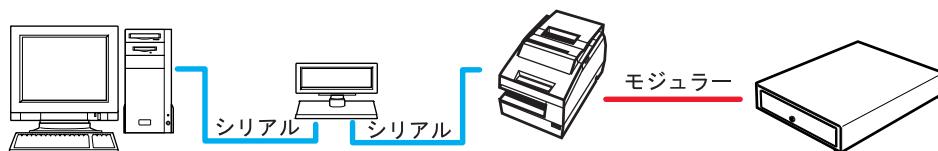
接続パターン

TMプリンターとカスタマディスプレイやドロワーを接続する場合

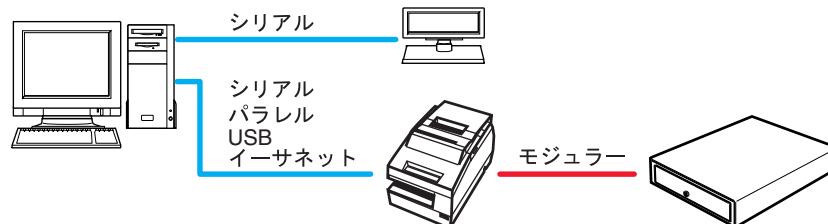
TMプリンターのインターフェースによって、以下のような接続を選べます。
なお、バススルー接続やY接続は、ドライバーをインストールする順番を守ってください。

バススルー接続（Aパターン）

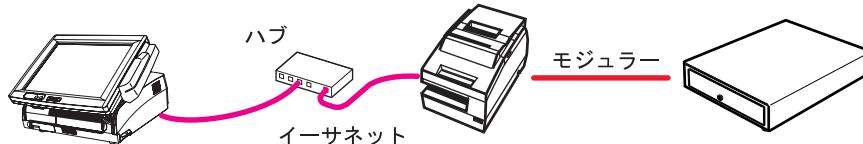
この接続は、最初にカスタマディスプレイのドライバをインストールしてください。
次にTMプリンタのドライバをインストールしてください。



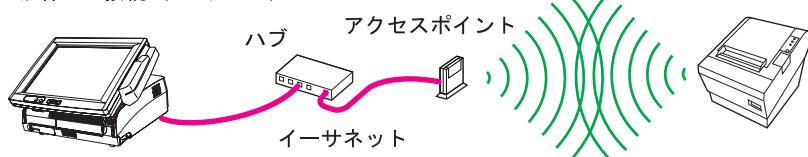
スタンドアロン接続（Bパターン）



イーサネット接続（Bパターン）

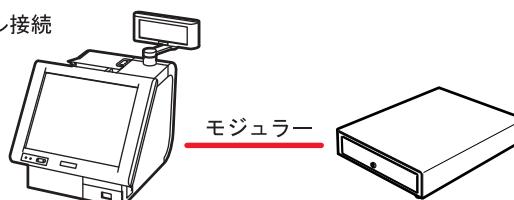


無線LAN接続（Bパターン）



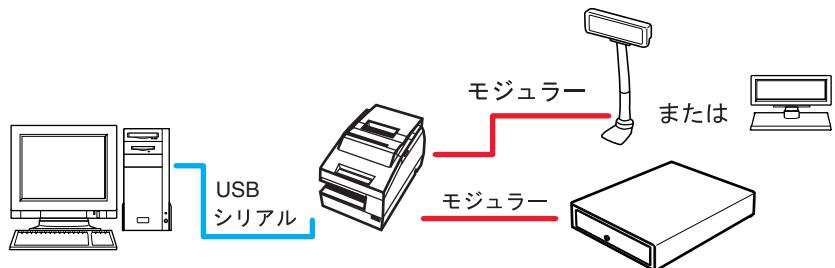
SASPORT ARCX（Bパターン）

内部でシリアル接続



Y接続（Cパターン）

この接続は、最初にTMプリンタのドライバをインストールしてください。
次にカスタマディスプレイのドライバをインストールしてください。



注意

インターフェース変換コネクター /インターフェース増設ボード等を使用した接続は動作保証外となります。

参考

- TMプリンターの機種（インターフェース仕様）にあった接続パターンを選び、各インターフェースの通信設定を行ってください。
- TMプリンターおよびカスタマディスプレイの通信設定は、機器のディップスイッチなどで行います。詳細は製品同梱マニュアルを参照してください。

接続ケーブル

シリアル接続は、以下の配線ケーブルを使用してください。
(弊社オプションのシリアルケーブル、OI-CO1 を推奨します。)

D-Sub 25P(TM)		D-Sub 9P(PC)		
ピン	信号	信号	ピン	
1	FG		DCD	1
2	TXD	X	TXD	3
3	RXD	X	RXD	2
20	DTR	X	DTR	4
6	DSR	X	DSR	6
4	RTS	X	RTS	7
5	CTS	X	CTS	8
7	GD		GD	5
25	RESET		RI/RESET	9

OSによる記述の違い

本書ではOSによって記載内容が異なる場合があります。以下を参照してください。

項目	説明
画面の説明	本書ではWindows Vistaの画面で説明をしています。 他のOSをご使用の場合は、読み換えてお使いください。
プリンタードライバーの確認と設定	Windows 7 (スタート) - (コントロールパネル) - (ハードウェアとサウンド) - (デバイスとプリンター) 設定するプリンタードライバーを右クリックし、(プリンターのプロパティ)を選択します。 Windows Vista (スタート) - (コントロールパネル) - (ハードウェアとサウンド) - (プリンタ) 設定するプリンタードライバーを右クリックし、(プロパティ)を選択します。 Windows XP (スタート) - (コントロールパネル) - (プリンタとFAX) 設定するプリンタードライバーを右クリックし、(プロパティ)を選択します。
共有プリンターの削除	Windows 7 (スタート) - (コントロールパネル) - (ハードウェアとサウンド) - (デバイスとプリンター) Windows Vista (スタート) - (コントロールパネル) - (ハードウェアとサウンド) - (プリンタ) Windows XP (スタート) - (コントロールパネル) - (プリンタとFAX)
共有プリンターの追加	Windows 7 (スタート) - (コントロールパネル) - (ハードウェアとサウンド) - (プリンターの追加) Windows Vista (スタート) - (コントロールパネル) - (ハードウェアとサウンド) - (プリンタの追加) Windows XP (スタート) - (コントロールパネル) - (プリンタを追加する)
サーバーのプロパティ	Windows 7 (デバイスとプリンター)から、プリンターを選択すると、画面上部に(プリント サーバーのプロパティ)が表示されます。 Windows Vista (プリンタ) - (ファイル) - (管理者として実行) - (サーバーのプロパティ) Windows XP (プリンタとFAX) - (ファイル) - (サーバーのプロパティ)
プログラムのアンインストール	Windows 7 (スタート) - (コントロールパネル) - (プログラムのアンインストール) Windows Vista (スタート) - (コントロールパネル) - (プログラムのアンインストール) Windows XP (スタート) - (コントロールパネル) - (プログラムの追加と削除)

制限事項

- EPSON 製ターミナルプリンター（レーザープリンター、インクジェットプリンター等）用プリンタードライバー や EPSON プリンターウィンドウと、APD を共存する場合、インストールとアンインストールは以下の順序で行ってください。

【インストール】

- EPSON 製ターミナルプリンター用プリンタードライバー
- APD

【アンインストール】

- APD
- EPSON 製ターミナルプリンター用プリンタードライバー

またインストール後、EPSON 製ターミナルプリンター用プリンタードライバーを上書きインストールする場合、先に APD をアンインストールした後、上書きしてください。

- USB 接続の場合、APD のインストール後にプラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールできますが、TM プリンターがオフライン状態（カバーオープン、用紙なしなど）では追加できません。オフライン状態から復帰した時に追加されます。
- USB 接続で同時に使用できる TM プリンターの最大接続台数は 8 台です。
- Windows XP においてパラレルインターフェースの TM プリンターを接続すると、プラグアンドプレイ要求画面終了後、デバイスマネージャのその他のデバイスに、「EPSON TM-P2.01」が追加されます。このデバイスの「削除」、「ドライバの更新」は行わないでください。パラレルインターフェースの TM プリンターのドライバーをインストール前に接続すると、「EPSON TM-P2.01」が検出されますが、削除や更新は行わずに「キャンセル」して下さい。（デバイスマネージャのその他のデバイスに追加され、ドライバーのインストール後に消えます。）

マニュアル / サンプルプログラム

マニュアルとサンプルプログラムは、APDとは別パッケージで用意されています。

インストール

以下の手順でマニュアル / サンプルプログラムをインストールします。

注意

マニュアル / サンプルプログラムのインストールは、APDのインストール後に行ってください。

- 1 マニュアル / サンプルインストーラーのアイコンをダブルクリックし、インストールを開始します。
- 2 InstallShield Wizard 画面が表示されます。[次へ] ボタンを押します。
- 3 「使用許諾契約」画面が表示されます。内容を確認して“使用許諾契約の全条項に同意します”を選択し、[次へ] ボタンを押します。
- 4 「機能の選択」画面が表示されます。インストールする機能を選択します。“マニュアル”/“サンプルプログラム”を選択し、[次へ] ボタンを押します。
- 5 「インストール準備完了」画面が表示されます。[インストール] ボタンを押します。マニュアルがインストールされます。
- 6 「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されます。[完了] ボタンを押すと、マニュアルのインストールが終了します。
- 7 [スタート]-[すべてのプログラム]-[EPSON]-[EPSON Advanced Printer Driver 4]-[マニュアル]/[サンプルプログラム] でマニュアル / サンプルプログラムの選択画面が表示されます。

アンインストール

以下の手順でマニュアル / サンプルプログラムをアンインストールします。

注意

マニュアル / サンプルプログラムのアンインストールは、APD のアンインストール前に行ってください。

- 1** [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール] を選択します。
([他の OS の参照先](#))
- 2** 「プログラムと機能」画面が表示されます。[EPSON APD4 Sample&Manual] をクリックします。
- 3** アンインストール確認画面が表示されます。[はい] ボタンを押します。マニュアル / サンプルがアンインストールされます。
- 4** [完了] ボタンを押すと、マニュアルとサンプルプログラムのアンインストールが終了します。

インストールとセットアップ

本章では、インストールからテスト印刷までの方法について説明しています。また、この章では APD のアンインストール (32 ページ) および、インストール後のメンテナンス (55 ページ) についても説明しています。

参考

APD4.07 以降は、32 bit 版 OS と 64 bit 版 OS に対応しています。

注意

- 管理者 (Administrator) 権限でインストールしてください。
- APD のインストールが完了するまでは、TM プリンターを接続しないでください。
- 使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。

APD 2.xx, 3.xx からアップグレードの注意

APD 4.xx は APD 2.xx, 3.xx と共に存できません。以下の点にご注意ください。

- APD 2.xx, 3.xx がインストールされている環境に APD 4.xx をインストールすると、以前のバージョンの APD は自動的にアンインストールされ、次に APD4.xx がインストールされます。
- APD 4.xx ではサポートしていない TM プリンターがあります。ご使用の TM プリンターがサポートされているかご確認ください。APD4.xx でサポートしていない TM プリンターを使用している環境にインストールした場合、ご使用の TM プリンターが使用できなくなります。

APD 4.5xx 以降の APD と他のドライバー / ユーティリティの共存について

APD 4.5xx 以降の APD をインストールすると、以下に記載されているバージョンより前のドライバー / ユーティリティは、使用できなくなります。また共有プリンターも、クライアントコンピューターからアクセスした後、使用できなくなります。共存可能なドライバー / ユーティリティは、お客様にて別途入手していただき、アップグレードしていただきますようお願いいたします。アップグレードの方法は、各ドライバー / ユーティリティのマニュアルを参照してください。

他のドライバー / ユーティリティ	共存可能バージョン
EPSON OPOS ADK	Ver2.68J 以降
EPSON OPOS ADK for .NET	Ver1.11.20 以降
EpsonNet Simple Viewer	Ver2.30 以降
TM Virtual Port Driver	Ver7.10 以降

共存している他のドライバー / ユーティリティをアップグレードできない場合、APD 4.15 以前のバージョンを再インストールして使用してください。

インストールの種類

APD のインストール方法には、以下の種類があります。

- **最小インストール** [17 ページ](#)

EPSON が推奨するインストール方法です。

プリンターを使用するための必要最小限の機能をインストールします。この方法を利用すると、インストールするファイルサイズを減らし、インストール時間を短縮できます。

- **スタンダードインストール** [26 ページ](#)

APD がサポートしているすべての機能をインストールします。また、プラグアンドプレイ機能で全機種のプリンタードライバーの追加が可能になります。APD4.07 以降は、32bit 版と 64bit 版のプリンタードライバーの両方がインストールされます。

- **カスタムインストール** [33 ページ](#)

特定の機能を選択してインストールします。APD4.07 以降は、ご使用の OS 環境に合わせて、32bit 版または 64bit 版のプリンタードライバーを選択できます。

- **TM プリンターにカスタマディスプレイを接続する場合のインストール** [38 ページ](#)

バススルー接続や Y 接続 ([9 ページ](#)) で、1 つのポートに TM プリンターとカスタマディスプレイを接続する場合は、ドライバーをインストールする順番が決まっています。インストールの種類は、最小インストール / スタンダードインストール / カスタムインストールの中から選択します。

本書ではインストール後に行う、以下の方法についても説明しています。

- **プラグアンドプレイ** [47 ページ](#)

APD をスタンダード / カスタムインストールしたコンピューターに、USB インタフェースの TM プリンターをインストールします。

- **共有プリンターのインストール** [49 ページ](#)

共有プリンター (Point & Print) をインストールします。

- **APD のアップグレードインストール** [64 ページ](#)

APD の新しいバージョンをアップグレードインストールします。

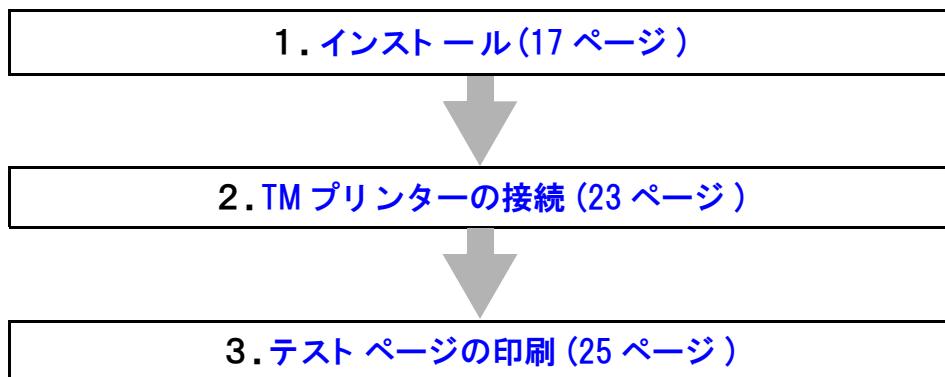
- **サイレントインストール** [67 ページ](#)

APD 環境を、他のコンピューターにコピーします。これは第 3 章で説明します。

最小インストール

EPSON が推奨するインストール方法です。プリンターを使用するための必要最小限の機能をインストールします。この方法を利用すると、インストールするファイルサイズを減らし、インストール時間を短縮できます。

インストールの流れ



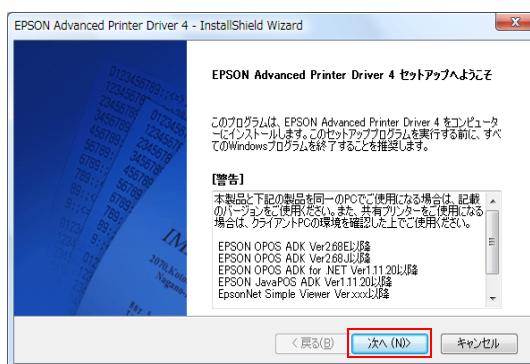
インストール

次の手順で行います。

- APD のインストーラーのアイコンをダブルクリックし、インストールを開始します。



- InstallShield Wizard 画面が表示されます。[警告] を確認します。
コンピューターの環境を確認し、インストールを継続する場合は、[次へ] ボタンを押します。(15 ページの「APD 4.5xx 以降の APD と他のドライバー / ユーティリティの共存について」を参照)

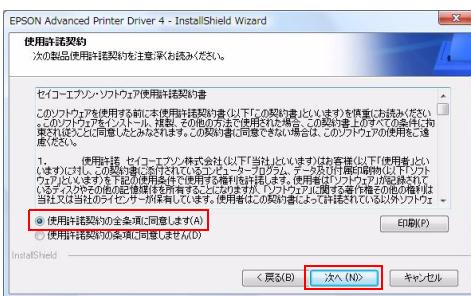


3 「使用許諾契約」画面が表示されます。内容を確認して「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、[次へ] ボタンを押します。

4 「セットアップタイプ」画面が表示されます。「最小 (EPSON 推奨)」を選択し、[次へ] ボタンを押します。

5 「プリンター設定」画面が表示されます。インストールするドライバーの機種を選択するため、[追加] ボタンを押します。

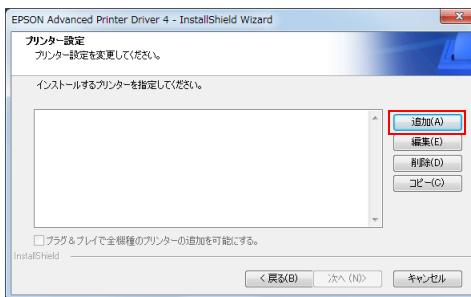
3 >



4 >



5 >

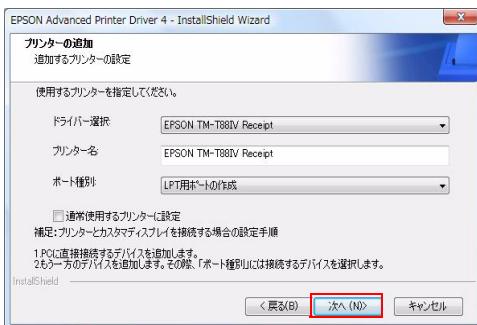


6 「プリンターの追加」画面が表示されます。使用するプリンタードライバーとポートを設定し、[次へ] ボタンを押します。

設定	説明
ドライバ選択	プリンタードライバーを選択します。
プリンタ名	プリンタードライバーナーです。 これは編集可能です。Unicode、2バイト文字は使用できません。
ポート種別	TM プリンターを接続するインターフェースを選択します。 LPT 用ポートの作成 : 手順 7 へ進んでください。 COM 用ポートの作成 : 手順 8 へ進んでください。 Ethernet 用ポートの作成 : 手順 9 へ進んでください。 USB 用ポートの作成 : 手順 10 へ進んでください。
通常使うプリンターに設定	Windows のアプリケーションで、通常使うプリンタードライバーにするときにチェックします。

7 「パラレル設定」画面が表示されます。パラレルポートの設定をして、[次へ] ボタンを押します。手順 10 へ進んでください。

設定	説明
プリンタ名	手順 6 で設定したプリンタ名が表示されます。ここでは編集できません。
パラレルポート	TM プリンターを接続するパラレルポート番号を指定します。 通常は設定する必要がありません。

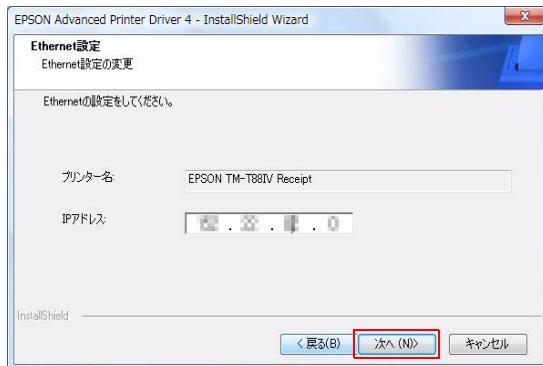
6 >**7 >**

8 「シリアル設定」画面が表示されます。シリアルポートの設定をして、[次へ] ボタンを押します。手順 10 へ進んでください。



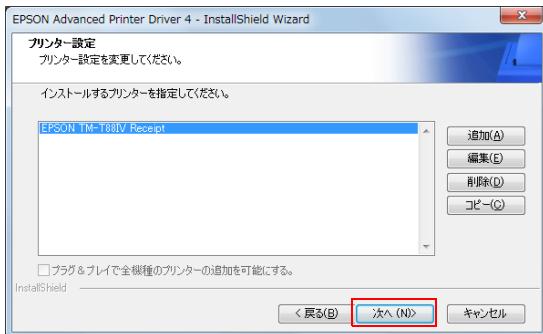
設定	説明
プリンタ名	手順 6 で設定したプリンタ名が表示されます。ここでは編集できません。
シリアルポート	TM プリンターを接続するシリアルポート番号を指定します。
ボーレート	通信速度を設定します。
データビット	データビットを設定します。
ストップビット	ストップビットを設定します。
フロー制御	コンピューターとシリアルデバイス間のデータフロー制御を設定します。
パリティ	パリティを設定します。

9 「Ethernet 設定」画面が表示されます。TM プリンターの IP アドレスを設定して、[次へ] ボタンを押します。手順 10 へ進んでください。

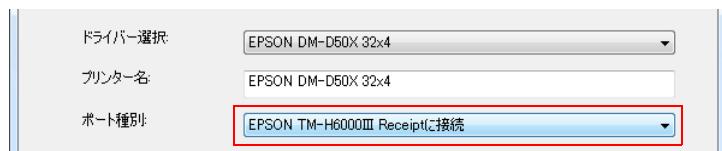


設定	説明
プリンタ名	手順 6 で設定したプリンタ名が表示されます。ここでは編集できません。
IP アドレス	TM プリンターの IP アドレスを設定します。 TM プリンターに IP アドレスを設定する方法については、 60 ページ「TM プリンターに IP アドレスを設定する」 を参照してください。

10 「プリンター設定」画面に戻ります。手順6～手順9で設定したプリンタードライバーが一覧表示されます。さらにインストールする場合、以下の設定をします。
設定が終了したら [次へ] ボタンを押します。



- 複数のプリンタードライバーをインストールする：
[追加] ボタンを押します。手順6～手順9を繰り返します。
- 同じプリンタードライバーを複数インストールする：
[コピー] ボタンを押します。手順6～手順9を繰り返します。
(同時接続台数は8台、ドライバーのコピーは100台まで可能です。)
- 同じ機種の異なるドライバーをインストールする：
[追加] ボタンを押します。手順6で同じ機種の異なるドライバーを選択します。
"ポート種別"が、1台目のプリンタードライバーとの共有(例："EPSON TM-H6000III Receipt と共有")になっていることを確認します。



参考

同じ機種の異なるドライバーをインストールする例として、以下の組み合わせが考えられます。

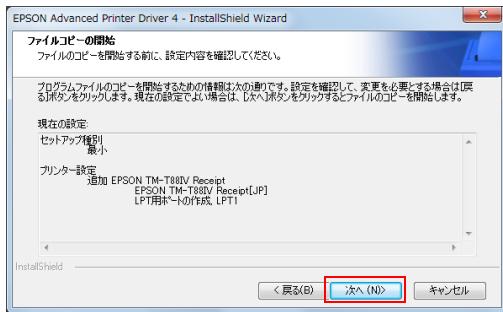
- * ハイブリッドプリンターのReceiptドライバーとSlipドライバーを使用
- * ラベルプリンターでPeeler用紙と全面ラベル紙を切り替えて使用
- * プリンタードライバーの設定を切り替えて使用
(例：レシート(縦書き)と領収書(横書き)をドライバーを切り替えて使用)

11 「ファイルコピーの開始」画面が表示されます。“現在の設定”からインストールする内容を確認し、[次へ] ボタンを押します。

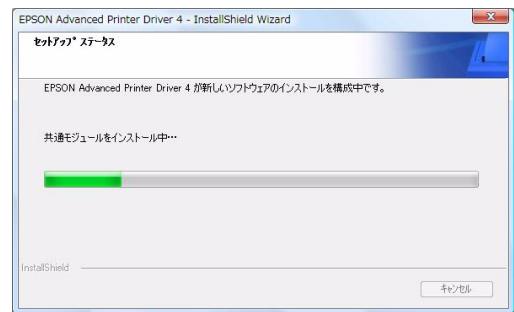
12 APD がインストールされます。

13 「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されます。[完了] ボタンを押すと、インストールが終了します。

11 >



12 >



13 >



14 [スタート] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] ([他の OS の参照先](#)) からプリンタードライバーがインストールされていることを確認します。



TMプリンターの接続

TMプリンターを接続する前に、TMプリンターのDIPSWのBusyとなる条件を、”受信バッファフルのみ”に設定してください。

TMプリンターを接続します。TMプリンターの接続方法やDIPSWの確認方法については、各TMプリンターの製品同梱マニュアルか詳細取扱説明書を参照してください。

注意

- 1台のコンピューターで同時に使用できるTMプリンターの最大接続台数は8台です。
- TMプリンターの電源オフしてから5秒以上待って電源をオンしてください。

パラレル(LPT)接続

TMプリンターを接続すると、「新しいハードウェアが見つかりました。EPSON TM-P2.01」が表示され、“新しいハードウェア検索ウィザード”が表示されます。その場合、次の手順で進めてください。

1 [次へ]ボタンを押し、ドライバーを検索します。

2 ドライバーが見つかり、インストールされます。

シリアル(COM)接続

プリンタードライバーのポート設定を、TMプリンターの設定（ボーレート／データビット／parity／ストップビット／フロー制御）と一致させてください。

TMプリンターのBusyとなる条件を、[受信バッファーフルのみ]に設定してください。設定方法と対象機種は、以下のとおりです。

設定方法	対象機種
ユーザーがTMプリンターのディップスイッチで設定。	下記の機種以外
ユーザーは設定不要。プリンタードライバーがメモリースイッチを自動設定する。	TM-J2000/2100、TM-L90、TM-L90Peeler、TM-T90、TM-T90KP、TM-T20

Ethernet(10/100Base-T)接続

TMプリンターのIPアドレスを確認してください。TMプリンターにIPアドレスを設定する方法については、[60ページ「TMプリンターにIPアドレスを設定する」](#)を参照してください。

無線LAN(IEEE 802.11b)接続

TMプリンターのIPアドレスを確認してください。IPアドレスの設定には、Ethernet(無線LANインターフェース)モデル向けIPアドレス設定ユーティリティが必要です。またセキュリティ対策や設置場所についても十分な確認を行なってください。詳細は、「無線LANインターフェースボード(UB-R02A/R03A) 詳細取扱説明書」をご覧ください。

USB 接続

APD をインストールする前に TM プリンターを接続しないでください。

もし APD をインストールする前に TM プリンターを接続してしまった場合は、該当のポートドライバーを削除してから、TM プリンターを接続せずに再度プリントードライバーをインストールしてください。

注意

接続できる USB デバイス

- 最長 USB ケーブル長 5 m、最大ハブ数 5 段。
- USB2.0 規格 (12Mbps) に適合している USB ケーブル、USB ハブを使用してください。

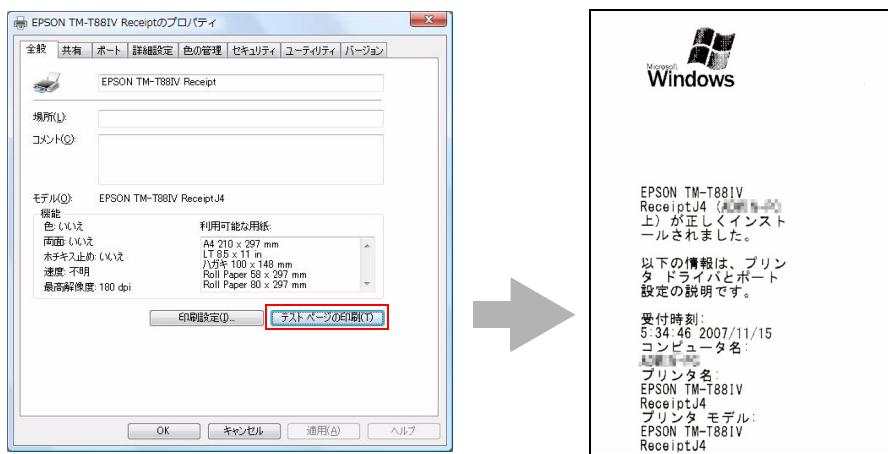
参考

USB の省電力については、APD をインストールした後に生成される、
C:\Program Files\EPSON\EPSON Advanced Printer Driver 4\TMUSB\readme_j.txt をご覧ください。

テストページの印刷

APDが正常にインストールされて印刷できるか確認するために、テストページの印刷を行ないます。テストページの印刷は、次の手順で行います。

- 1** [スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ]を開き、インストールしたプリンタードライバーを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
[\(他のOSの参照先\)](#)
- 2** TMプリンターのプロパティ画面が表示されます。[テストページの印刷]ボタンを押し、テストページを印刷します。



参考

- APDのテストページの印刷は、通常のテストページの印刷のように、すべてのデータを印字しません。
- テストページの印刷は、文字 / 画像イメージデータとして印字されます。印字データが多くなるため、シリアルインターフェースをご使用の場合は、TMプリンターとの通信に時間がかかり、印字が遅くなります。

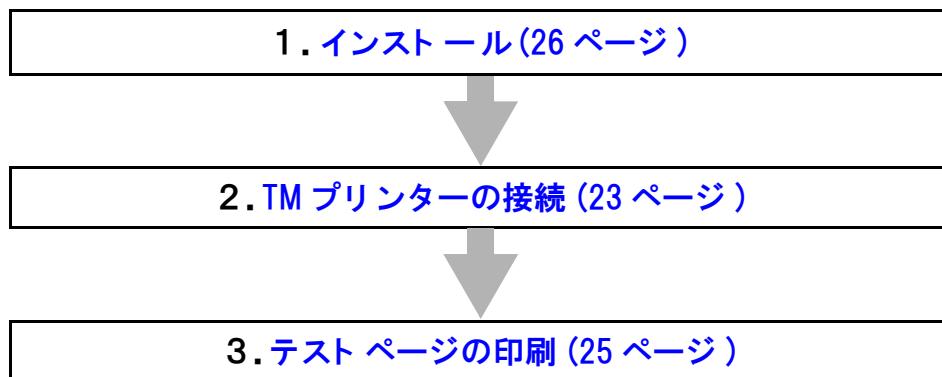
- 3** テストページの印刷結果確認画面が表示されます。正常にテスト印刷された場合は[閉じる]ボタンを押します。正常にテスト印刷されなかった場合は、[プリンタの問題のトラブルシューティング]を押して、Windowsのメッセージに従って確認をしてください。



スタンダードインストール

APDがサポートしているすべての機能をインストールします。また、プラグアンドプレイ機能で全機種のプリンタードライバーの追加が可能になります。APD4.07以降は、32bit版と64bit版のプリンタードライバーの両方がインストールされます。

インストールの流れ



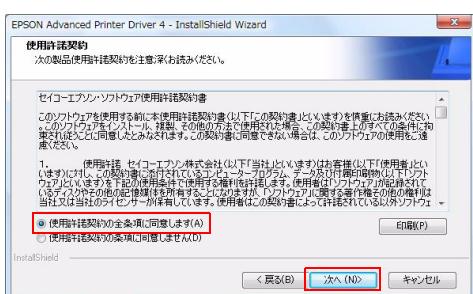
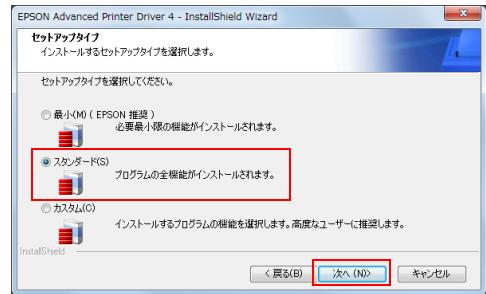
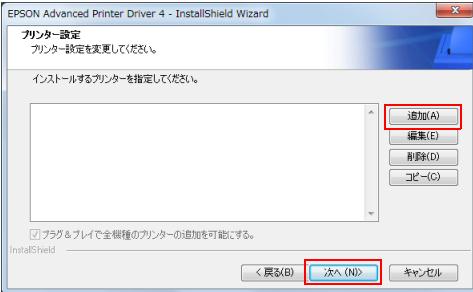
インストール

次の手順で行います。

- 1 APDのインストーラーのアイコンをダブルクリックし、インストールを開始します。
- 2 InstallShield Wizard画面が表示されます。[警告]を確認します。
コンピューターの環境を確認し、インストールを継続する場合は、[次へ]ボタンを押します。(15ページの「APD 4.5xx以降のAPDと他のドライバー/ユーティリティの共存について」を参照)



- 3** 「使用許諾契約」画面が表示されます。内容を確認して「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、[次へ] ボタンを押します。
- 4** 「セットアップタイプ」画面が表示されます。「スタンダード」を選択し、[次へ] ボタンを押します。
- 5** 「プリンター設定」画面が表示されます。APD のインストールと同時にプリンタードライバーをインストールする場合、[追加] ボタンを押します。
APD のインストール終了後、プラグアンドプレイでドライバーをインストールする場合、[次へ] ボタンを押して手順 11 に進んでください。

3 >**4 >****5 >**

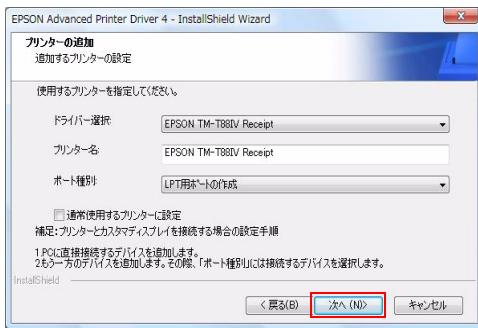
6 「プリンターの追加」画面が表示されます。使用するプリンタードライバーとポートを設定し、[次へ] ボタンを押します。

設定	説明
ドライバー選択	プリンタードライバーを選択します。
プリンター名	プリンタードライバーネームです。 これは編集可能です。Unicode、2バイト文字は使用できません。
ポート種別	TM プリンターを接続するインターフェースを選択します。 LPT 用ポートの作成 : 手順 7 へ進んでください。 COM 用ポートの作成 : 手順 8 へ進んでください。 Ethernet 用ポートの作成 : 手順 9 へ進んでください。 USB 用ポートの作成 : 手順 10 へ進んでください。
通常使うプリンターに設定	Windows のアプリケーションで、通常使うプリンタードライバーにするときにチェックします。

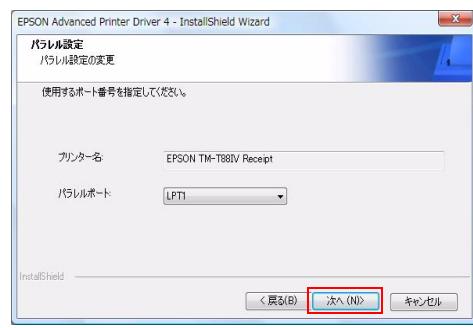
7 「パラレル設定」画面が表示されます。パラレルポートの設定をして、[次へ] ボタンを押します。手順 10 へ進んでください。

設定	説明
プリンター名	手順 6 で設定したプリンター名が表示されます。ここでは編集できません。
パラレルポート	TM プリンターを接続するパラレルポート番号を指定します。 通常は設定する必要がありません。

6 >



7 >

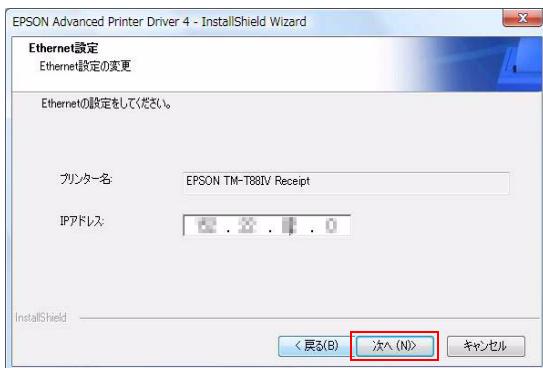


- 8** 「シリアル設定」画面が表示されます。シリアルポートの設定をして、[次へ] ボタンを押します。手順 10 へ進んでください。



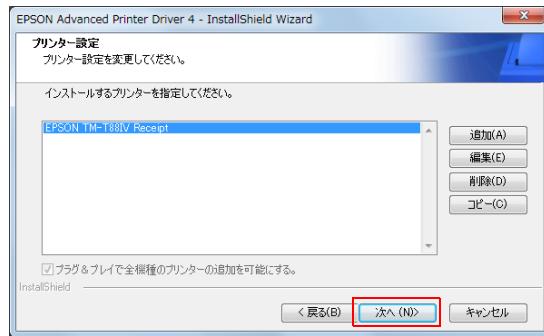
設定	説明
プリンタ名	手順 6 で設定したプリンタ名が表示されます。ここでは編集できません。
シリアルポート	TM プリンターを接続するシリアルポート番号を指定します。
ボーレート	通信速度を設定します。
データビット	データビットを設定します。
ストップビット	ストップビットを設定します。
フロー制御	コンピューターとシリアルデバイス間のデータフロー制御を設定します。
パリティ	パリティを設定します。

- 9** 「Ethernet 設定」画面が表示されます。TM プリンターの IP アドレスを設定して、[次へ] ボタンを押します。手順 10 へ進んでください。

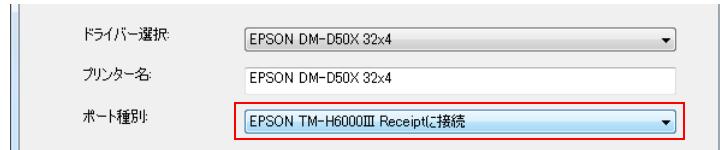


設定	説明
プリンタ名	手順 6 で設定したプリンタ名が表示されます。ここでは編集できません。
IP アドレス	TM プリンターの IP アドレスを設定します。 TM プリンターに IP アドレスを設定する方法については、 60 ページ「TM プリンターに IP アドレスを設定する」 を参照してください。

10 「プリンター設定」画面に戻ります。手順6～手順9で設定したプリンタードライバーが一覧表示されます。さらにインストールする場合、以下の設定をします。
設定が終了したら [次へ] ボタンを押します。



- 複数のプリンタードライバーをインストールする:
[追加] ボタンを押します。手順6～手順9を繰り返します。
- 同じプリンタードライバーを複数インストールする:
[コピー] ボタンを押します。手順6～手順9を繰り返します。
(同時接続台数は8台、ドライバーのコピーは100台まで可能です。)
- 同じ機種の異なるドライバーをインストールする:
[追加] ボタンを押します。手順6で同じ機種の異なるドライバーを選択します。
"ポート種別"が、1台目のプリンタードライバーとの共有(例:"EPSON TM-H6000III Receiptと共有")になっていることを確認します。



参考

同じ機種の異なるドライバーをインストールする例として、以下の組み合わせが考えられます。

- * ハイブリッドプリンターのReceiptドライバーとSlipドライバーを使用
- * ラベルプリンターでPeeler用紙と全面ラベル紙を切り替えて使用
- * プリンタードライバーの設定を切り替えて使用
(例:レシート(縦書き)と領収書(横書き)をドライバーを切り替えて使用)

11 「ファイルコピーの開始」画面が表示されます。“現在の設定”からインストールする内容を確認し、[次へ] ボタンを押します。

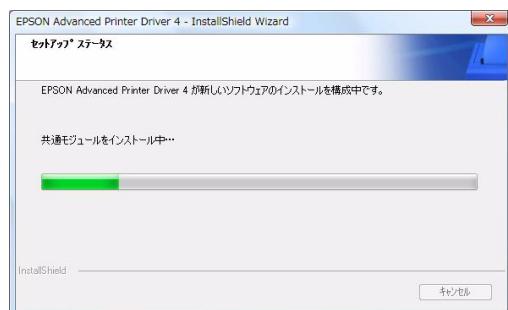
12 APD がインストールされます。

13 「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されます。[完了] ボタンを押すと、インストールが終了します。

11 >



12 >



13 >



2

14 手順5でプリンタードライバーを選択した場合、[スタート] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] ([他のOSの参照先](#)) からプリンタードライバーがインストールされていることを確認します。

手順5でプリンタードライバーを選択していない場合、ここにプリンタードライバーは表示されません。



アンインストール

APD に関する全て（ポートドライバーやプリンタードライバーなど）をアンインストールします。

参考

APD には画面表示させないでアンインストールするサイレント アンインストール機能があります。詳細は、[73 ページの「/uninstall : サイレント アンインストール」](#)をご覧ください。

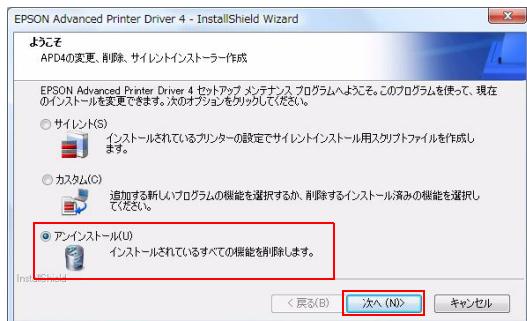
注意

[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ]（[他の OS の参照先](#)）から直接プリンタードライバーを削除しないでください。画面からアイコン（プリンタードライバー）が消えても、APD はアンインストールされません。プリンタードライバーの削除については、[58 ページの「プリンタードライバーの削除」](#)をご覧ください。

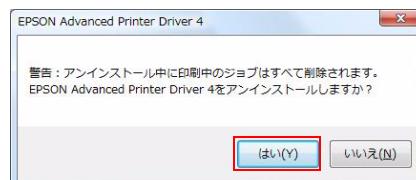
APD のアンインストールは以下の手順で行います。

- 1** コンピューターで行っている、他のすべての作業を終了します。
- 2** [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [EPSON Advanced Printer Driver 4] - [APD4 の変更、削除、サイレントインストーラー作成] を選択します。
- 3** 「ようこそ」画面が表示されます。“アンインストール”を選択し、[次へ] ボタンを押します。
- 4** アンインストール確認画面が表示されます。[はい] ボタンを押します。
- 5** APD がアンインストールされます。
- 6** 「アンインストール完了」画面が表示されます。[完了] ボタンを押すと、アンインストールが完了します。再起動の要求があった場合は、再起動してください。

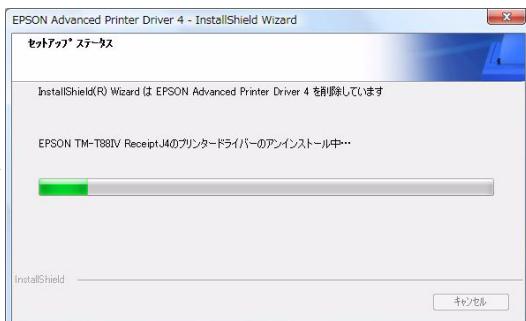
3 >



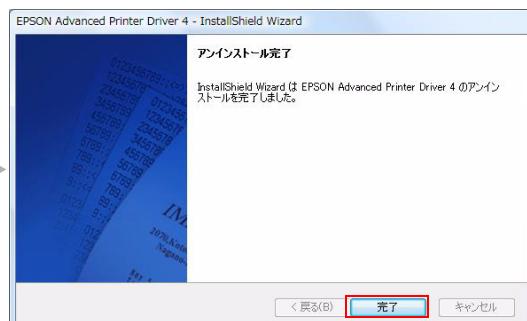
4 >



5 >



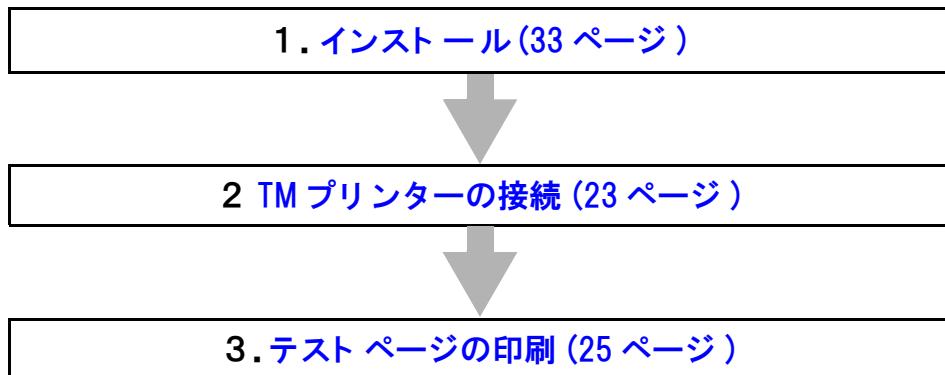
6 >



カスタムインストール

カスタムインストールは、特定の機能を選択してインストールします。また、APD4.07以降は、ご使用のOS環境に合わせて32bit版または64bit版のプリンタードライバーを選択できます。

インストールの流れ



インストール

次の手順で行います。

- 1** APDのインストーラーのアイコンをダブルクリックし、インストールを開始します。
- 2** InstallShield Wizard画面が表示されます。[警告]を確認します。
コンピューターの環境を確認し、インストールを継続する場合は、[次へ]ボタンを押します。(15ページの「APD 4.5xx以降のAPDと他のドライバー/ユーティリティの共存について」を参照)
- 3** 「使用許諾契約」画面が表示されます。内容を確認して“使用許諾契約の全条項に同意します”を選択し、[次へ]ボタンを押します。

4 「セットアップタイプ」画面が表示されます。“カスタム”を選択し、[次へ] ボタンを押します。

5 「プリンター設定」画面が表示されます。インストールする機種を選択するため、[追加] ボタンを押します。

APD のインストール終了後、プラグアンドプレイでドライバーをインストールする場合、“プラグ & プレイで全機種のプリンターの追加を可能にする。”にチェックし、[次へ] ボタンを押して手順 11 に進んでください。

設定	説明
プラグ & プレイで全機種の プリンターの追加を可能にする。	チェックなし (初期値)
	チェックあり

4 >



5 >



6 「プリンターの追加」画面が表示されます。使用するプリンタードライバーとポートを設定し、[次へ] ボタンを押します。

設定	説明
ドライバー選択	プリンタードライバーを選択します。
プリンター名	プリンタードライバーネームです。 これは編集可能です。Unicode、2 バイト文字は使用できません。
ポート種別	TM プリンターを接続するインターフェースを選択します。 LPT 用ポートの作成 : 手順 7 へ進んでください。 COM 用ポートの作成 : 手順 8 へ進んでください。 Ethernet 用ポートの作成 : 手順 9 へ進んでください。 USB 用ポートの作成 : 手順 10 へ進んでください。
通常使うプリンターに設定	Windows のアプリケーションで、通常使うプリンタードライバーにするときにチェックします。

7 「パラレル設定」画面が表示されます。パラレルポートの設定をして、[次へ] ボタンを押します。手順 10 へ進んでください。

設定	説明
プリンターネーム	手順 8 で設定したプリンターネームが表示されます。ここでは編集できません。
パラレルポート	TM プリンターを接続するパラレルポート番号を指定します。 通常は設定する必要がありません。

8 「シリアル設定」画面が表示されます。シリアルポートの設定をして、[次へ] ボタンを押します。手順 10 へ進んでください。

設定	説明
プリンターネーム	手順 8 で設定したプリンターネームが表示されます。ここでは編集できません。
シリアルポート	TM プリンターを接続するシリアルポート番号を指定します。
ボーレート	通信速度を設定します。
データビット	データビットを設定します。
ストップビット	ストップビットを設定します。
フロー制御	コンピューターとシリアルデバイス間のデータフロー制御を設定します。
パリティ	パリティを設定します。

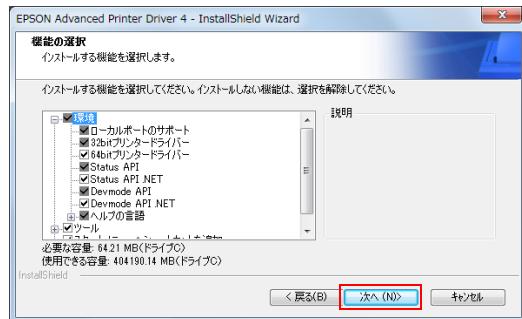
9 「Ethernet 設定」画面が表示されます。TM プリンターの IP アドレスを設定して、[次へ] ボタンを押します。手順 10 へ進んでください。

設定	説明
プリンターネーム	手順 8 で設定したプリンターネームが表示されます。ここでは編集できません。
IP アドレス	TM プリンターの IP アドレスを設定します。 TM プリンターに IP アドレスを設定する方法については、60 ページ「TM プリンターに IP アドレスを設定する」を参照してください。

10 「プリンター設定」画面に戻ります。手順 6 ~ 手順 9 で設定したプリンタードライバーが一覧表示されます。さらにインストールする場合、以下の設定をします。
設定が終了したら [次へ] ボタンを押します。

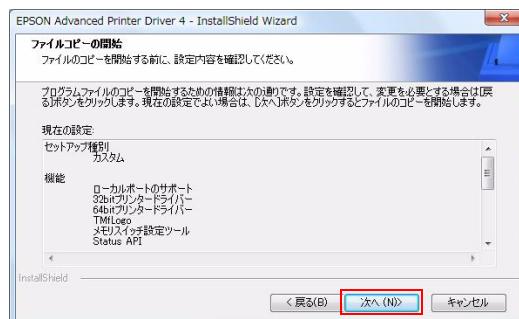
- 複数のプリンタードライバーを追加する:
[追加] ボタンを押します。手順 6 ~ 手順 9 を繰り返します。
- 同じ機種のプリンタードライバーを複数追加する:
[コピー] ボタンを押します。手順 6 ~ 手順 9 を繰り返します。
(同時接続台数は 8 台、ドライバーのコピーは 100 台まで可能です。)

11 「機能の選択」画面が表示されます。コンピューターにインストールするAPDの機能を選択し、[次へ] ボタンを押します。以下の機能を選択できます。



機能		説明
環境	32bit プリンタードライバー	32bit 版OS用のEPSONプリンタードライバーをサポートします。 64bit 版OSからインストールした場合、選択できます。
	64bit プリンタードライバー	64bit 版OS用のEPSONプリンタードライバーをサポートします。 32bit 版OSからインストールした場合、選択できます。
	Status API .NET	.NET 環境で Status API をサポートします。
	Devmode API .NET	.NET 環境で Devmode API をサポートします。
	ヘルプの言語	選択した言語のヘルプを表示可能にします。
ツール	TMfLogo	TM プリンターにビットマップデータを登録する、TM Flash ロゴ登録ユーティリティをインストールします。
	メモリースイッチ設定ツール	プリンターのメモリースイッチの設定の確認や、変更するメモリースイッチ設定ツールをインストールします。
	TM-T88V Utility	"TM-T88V Utility" をサポートします。(TM-T88Vを使用する時にのみ選択します。)
	TM-T20V Utility	"TM-T20V Utility" をサポートします。(TM-T20Vを使用する時にのみ選択します。)
	電子ジャーナル	電子ジャーナル設定ユーティリティをインストールします。
	用紙レイアウト	用紙レイアウト設定ツールをインストールします。(TM-L90 専用)
	ステータスピューワー	ステータスピューワーをインストールします。(TM-C100 専用) "ステータスピューワー"にチェックした場合、"自動実行"が選択可能になります。チェックした場合、ログイン時にステータスピューワーが自動起動します。
	Printer Network Setting	Printer Network Setting をインストールします。
スタートメニューへショートカットを追加		スタートメニューにAPDのショートカットが追加されます。 初期値: チェックあり

12「ファイルコピーの開始」画面が表示されます。“現在の設定”からインストールする内容を確認し、[次へ] ボタンを押します。



13APD がインストールされます。

14「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されます。[完了] ボタンを押すと、インストールが終了します。

15 [スタート] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] ([他のOSの参照先](#)) からプリンタードライバーがインストールされていることを確認します。

TMプリンターにカスタマディスプレイを接続する場合

ここでは TM プリンターとカスタマディスプレイを接続し、APD を使用する場合のインストール手順を説明します。

参考

インストールの種類は、最小インストール、スタンダードインストール、カスタムインストールの中から選択できます。ここでは最小インストールの場合を説明しています。

インストールの流れ

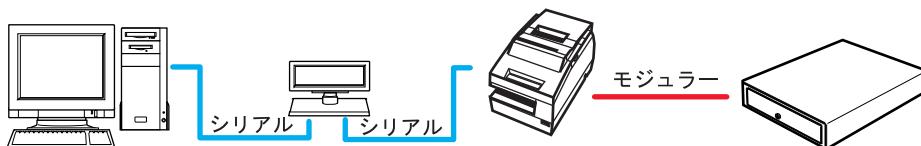
1. パススルー接続のインストール(38 ページ)

Y 接続のインストール(41 ページ)

2. デバイスの接続(45 ページ)

3. テスト印刷 / 表示(46 ページ)

パススルー接続のインストール



パススルー接続は、コンピューターからカスタマディスプレイを経由して TM プリンターを接続する方法です。インターフェースはシリアルで、コンピューター - カスタマディスプレイ - TM プリンター間のすべての通信設定を同じにする必要があります。カスタマディスプレイと TM プリンターのディップスイッチ / メモリースイッチの設定は、各機種の詳細取扱説明書を参照してください。

次の手順で行います。

- 1** APD のインストーラーのアイコンをダブルクリックし、インストールを開始します。
- 2** InstallShield Wizard 画面が表示されます。[警告] を確認します。
コンピューターの環境を確認し、インストールを継続する場合は、[次へ] ボタンを押します。(15 ページの「APD 4.5xx 以降の APD と他のドライバー / ユーティリティの共存について」を参照)
- 3** 「使用許諾契約」画面が表示されます。内容を確認して「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、[次へ] ボタンを押します。

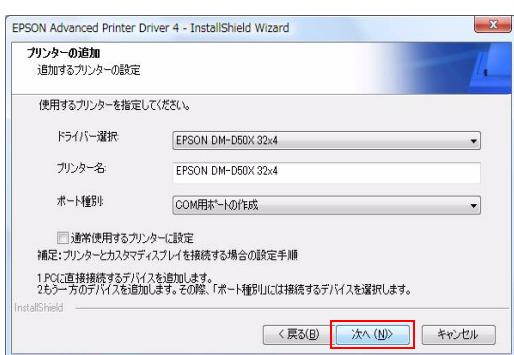
- 4** 「セットアップタイプ」画面が表示されます。“最小”を選択し、[次へ] ボタンを押します。
- 5** 「プリンター設定」画面が表示されます。インストールする機種を選択するため、[追加] ボタンを押します。
- 6** 「プリンターの追加」画面が表示されます。使用するカスタマディスプレイのプリンタードライバーと、ポートを設定し、[次へ] ボタンを押します。

設定	説明
ドライバー選択	カスタマディスプレイのプリンタードライバーを選択します。
プリンターナー名	カスタマディスプレイのドライバーナー名です。 これは編集可能です。Unicode、2バイト文字は使用できません。
ポート種別	カスタマディスプレイを接続するインターフェースを選択します。 “COM ポートの作成”を選択します。
通常使うプリンターに設定	Windows のアプリケーションで、通常使うプリンタードライバーにするときにチェックします。

- 7** 「シリアル設定」画面が表示されます。シリアルポートの設定をして、[次へ] ボタンを押します。

設定	説明
プリンターナー名	手順 6 で設定したプリンターナー名が表示されます。ここでは編集できません。
シリアルポート	TM プリンターを接続するシリアルポート番号を指定します。
ボーレート	通信速度を設定します。
データビット	データビットを設定します。
ストップビット	ストップビットを設定します。
フロー制御	コンピューターとシリアルデバイス間のデータフロー制御を設定します。
パリティ	パリティを設定します。

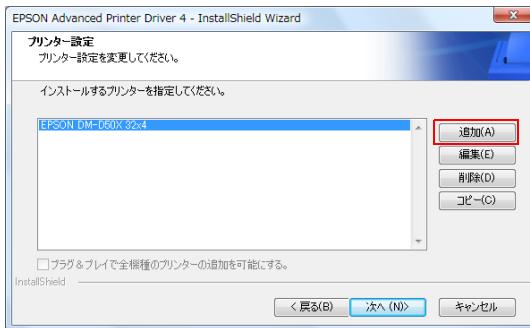
6 >



7 >



8 「プリンター設定」画面に戻ります。[追加] ボタンを押し、TM プリンターのプリンタードライバーを選択します。



9 「プリンターの追加」画面が表示されます。最初に、使用する TM プリンターのプリンタードライバーを選択します。次に”ポート種別”が、手順 6～手順 7 で設定したカスタマディスプレイになっていることを確認（例：“EPSON DM-D50X 32x4 に接続”）し、[次へ] ボタンを押します。



設定	説明
ドライバー選択	TM プリンターのプリンタードライバーを選択します。
プリンター名	プリンタードライバーネームです。 これは編集可能です。Unicode、2 バイト文字は使用できません。
ポート種別	TM プリンターを接続するインターフェースを選択します。
通常使うプリンターに設定	Windows のアプリケーションで、通常使うプリンタードライバーにするときにチェックします。

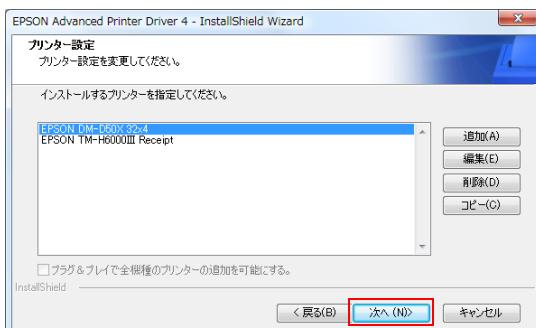
10 「プリンター設定」画面に戻ります。[次へ] ボタンを押します。

参考

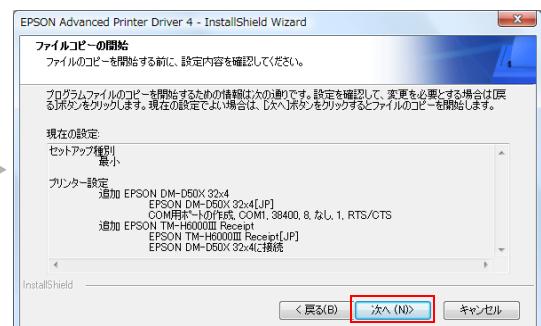
カスタムインストールの場合、「ファイルコピーの開始」画面の前に「機能の選択」画面が表示されます。

11 「ファイルコピーの開始」画面が表示されます。“現在の設定”からインストールする内容を確認し、[次へ] ボタンを押します。

10 >



11 >



12 APD がインストールされます。

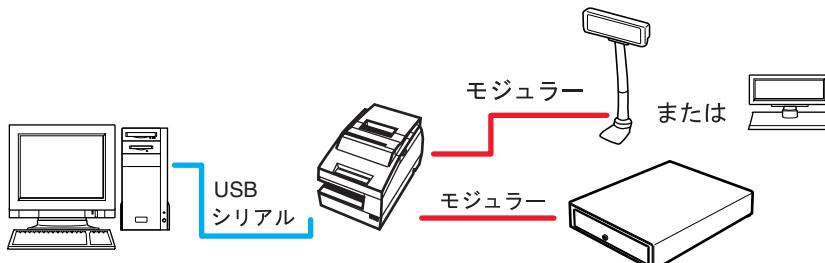
13 「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されます。[完了] ボタンを押すと、インストールが終了します。

14 [スタート] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] ([他の OS の参照先](#)) からプリンタードライバーとカスタマディスプレイのドライバーがインストールされていることを確認します。



Y接続のインストール

2



Y接続は、コンピューターから TM プリンターを経由してカスタマディスプレイを接続する方法です。

コンピューターと TM プリンターのインターフェースは、USB またはシリアルです。TM プリンターとカスタマディスプレイのインターフェースは、シリアルで、カスタマディスプレイのモジュラーケーブルを TM プリンターの DM-D コネクターに接続します。

カスタマディスプレイの通信速度は 19200bps に設定してください。

電源は、カスタマディスプレイから入れ、TM プリンターはその後に入れて下さい。

カスタマディスプレイと TM プリンターのディップスイッチ / メモリースイッチの設定は、各機種の詳細取扱説明書を参照してください。

次の手順で行います。

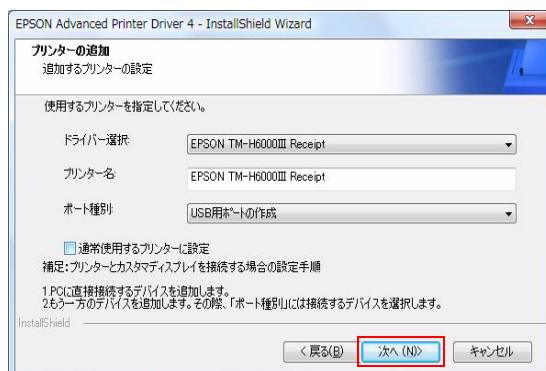
1 APD のインストーラーのアイコンをダブルクリックし、インストールを開始します。

2 InstallShield Wizard 画面が表示されます。[警告] を確認します。

コンピューターの環境を確認し、インストールを継続する場合は、[次へ] ボタンを押します。[\(15 ページの「APD 4.5xx 以降の APD と他のドライバー / ユーティリティの共存について」を参照\)](#)

3 「使用許諾契約」画面が表示されます。内容を確認して “使用許諾契約の全条項に同意します” を選択し、[次へ] ボタンを押します。

- 4** 「セットアップタイプ」画面が表示されます。“最小”を選択し、[次へ] ボタンを押します。
- 5** 「プリンター設定」画面が表示されます。インストールする機種を選択するため、[追加] ボタンを押します。
- 6** 「プリンターの追加」画面が表示されます。使用する TM プリンターのプリンタードライバーとポートを設定し、[次へ] ボタンを押します。

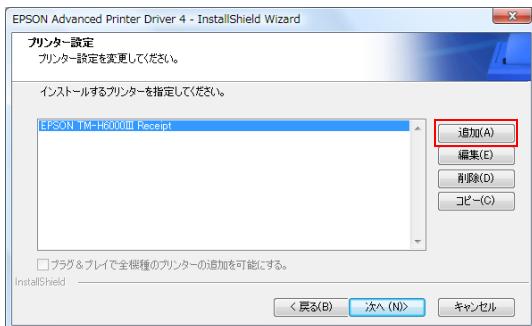


設定	説明
ドライバー選択	TM プリンターのプリンタードライバーを選択します。
プリンター名	プリンタードライバーネームです。 これは編集可能です。Unicode、2 バイト文字は使用できません。
ポート種別	TM プリンターを接続するインターフェースを選択します。 COM 用ポートの作成： 手順 7 へ進んでください。 USB 用ポートの作成： 手順 8 へ進んでください。
通常使うプリンターに設定	Windows のアプリケーションで、通常使うプリンタードライバーにするときにチェックします。

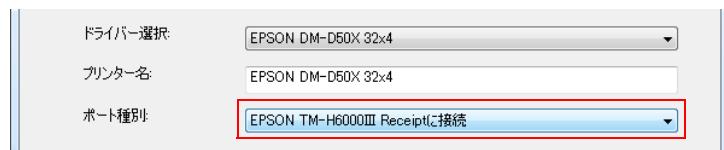
- 7** 「シリアル設定」画面が表示されます。シリアルポートの設定をして、[次へ] ボタンを押します。

設定	説明
プリンター名	手順 6 で設定したプリンター名が表示されます。ここでは編集できません。
シリアルポート	TM プリンターを接続するシリアルポート番号を指定します。
ボーレート	通信速度を設定します。
データビット	データビットを設定します。
ストップビット	ストップビットを設定します。
フロー制御	コンピューターとシリアルデバイス間のデータフロー制御を設定します。
パリティ	パリティを設定します。

- 8** 「プリンター設定」画面に戻ります。[追加] ボタンを押し、カスタマディスプレイのプリンタードライバーを選択します。



- 9** 「プリンターの追加」画面が表示されます。最初に、使用するカスタマディスプレイのドライバーを選択します。次にポート種別が手順 6～手順 7 で設定した TM プリンターになっていることを確認（例：EPSON TM-H6000III Receipt に接続）し、[次へ] ボタンを押します。

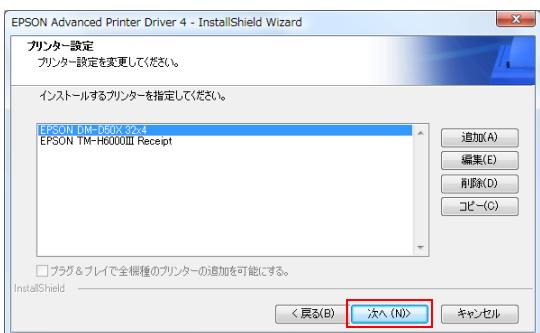


設定	説明
ドライバー選択	TM プリンターのプリンタードライバーを選択します。
プリンターナー名	プリンタードライバーナー名です。 これは編集可能です。Unicode、2 バイト文字は使用できません。
ポート種別	TM プリンターを接続するインターフェースを選択します。
通常使うプリンターに設定	Windows のアプリケーションで、通常使うプリンタードライバーにするときにチェックします。

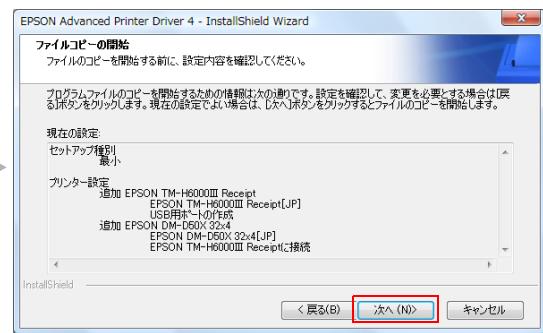
- 10** 「プリンター設定」画面に戻ります。[次へ] ボタンを押します。

- 11** 「ファイルコピーの開始」画面が表示されます。“現在の設定”からインストールする内容を確認し、[次へ] ボタンを押します。

10 >



11 >



12 APD がインストールされます。

13 「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されます。[完了] ボタンを押すと、インストールが終了します。

14 [スタート] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] ([他のOSの参照先](#)) からプリンタードライバーとカスタマディスプレイのドライバーがインストールされていることを確認します。



デバイスの接続

デバイス(TMプリンター、カスタマディスプレイ)を接続する前に以下を確認してください。

- TMプリンターのDIPSWのBusyとなる条件を、[受信バッファフルのみ]に設定してください。
- DM-D500をY接続する場合、ディップスイッチの設定をしてください。

デバイスを接続します。デバイスの接続方法やディップスイッチの確認方法については、各デバイスの製品同梱マニュアルか詳細取扱説明書を参照してください。

注意

- 1台のコンピューターで同時に使用できるTMプリンターの最大接続台数は8台です。
- TMプリンターの電源オフしてから5秒以上待って電源をオンしてください。

シリアル(COM)接続

プリンタードライバーのポート設定を、TMプリンターやカスタマディスプレイの設定(ボーレート/データビット/パリティ/ストップビット/フロー制御)と一致させてください。

TMプリンターのBusyとなる条件を、[受信バッファフルのみ]に設定してください。設定方法と対象機種は、[23ページ「シリアル\(COM\)接続」](#)を参照してください。

USB接続

APDをインストールする前にTMプリンターを接続しないでください。

もしAPDをインストールする前にTMプリンターを接続してしまった場合は、該当のポートドライバーを削除してから、TMプリンターを接続せずに再度プリンタードライバーをインストールしてください。

注意

接続できるUSBデバイス

- 最長USBケーブル長5m、最大ハブ数5段。
- USB2.0規格(12Mbps)に適合しているUSBケーブル、USBハブを使用してください。

参考

USBの省電力については、APDをインストールした後に生成される、
C:\Program Files\Epson\Epson Advanced Printer Driver 4\TMUSB\readme_j.txtをご覧ください。

テスト印刷 / 表示

APD が正常にインストールされて印刷 / 表示できるか確認するために、テスト印刷 / 表示を行ないます。

TM プリンター

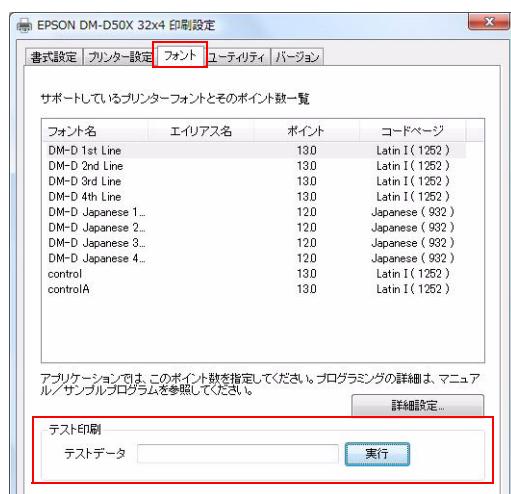
TM プリンターの場合、テストページの印刷で確認します。[25 ページ「テストページの印刷」](#) を参照してください。

カスタマディスプレイ

カスタマディスプレイの場合、プリンタードライバーのテスト印刷で確認します。

次の手順で行います。

- 1** [スタート] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] ([他のOS の参照先](#)) からカスタマディスプレイのプリンタードライバーを右クリックし、[印刷設定] を選択します。
- 2** 印刷設定画面が表示されます。[フォント] タブを選択します。
- 3** テストデータに表示させるデータを入力し、[実行] ボタンを押します。



- 4** 正常にインストールされた場合は、カスタマディスプレイに手順 3 で入力したデータが表示されます。

プラグアンドプレイ

すでにAPDがインストールされている環境で、Windowsのプラグアンドプレイ機能からプリンタードライバーをインストールします。

注意

- プラグアンドプレイ機能は、USBインターフェースのTMプリンターのみ使用できます。
- 最小インストール、またはカスタムインストールで“プラグ&プレイで全機種のプリンターの追加を可能にする。”をチェックしなかった場合、インストールした機種のみインストールができます。

インストールの流れ

1. TMプリンターの接続(23ページ)



2. プリンタードライバーのインストール(48ページ)



3. テストページの印刷(25ページ)

2

TMプリンターの接続

次の手順で接続してください。

1 TMプリンターを接続する前に、TMプリンターのDIPSWのBusyとなる条件を、“受信バッファフルのみ”に設定します。

2 TMプリンターを接続します。

参考

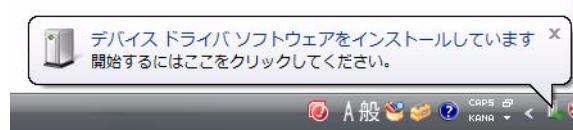
- APDをインストールする前にTMプリンターを接続してしまった場合は、該当のポートドライバーを削除してから、TMプリンターを接続せずに再度プリンタードライバーをインストールしてください。
- TMプリンターの接続方法やDIPSWの確認方法については、各TMプリンターの製品同梱マニュアルか詳細取扱説明書を参照してください。

注意

- 1台のコンピューターで同時に使用できるTMプリンターの最大接続台数は8台です。
- TMプリンターの電源オフしてから5秒以上待って電源をオンしてください。
- 接続できるUSBデバイス
 - * 最長USBケーブル長5m、最大ハブ数5段。
 - * USB2.0規格(12Mbps)に適合しているUSBケーブル、USBハブを使用してください。

プリンタードライバーのインストール

電源をオンすると自動的にプリンタードライバーがインストールされます。
コンピューターの画面の右下に以下メッセージが表示されます。



注意

TM プリンターがオフライン状態（カバーオープン、用紙なしなど）では、プリンタードライバーをインストールできません。TM プリンターが印刷可能な状態になると、プリンタードライバーは追加されます。

共有プリンター

APD4は、共有プリンター（Point&Print）をサポートしています。ここでは、共有プリンターを使うクライアントコンピューターに、APDをインストールする方法について説明します。また、アンインストールについても説明します。

参考

サーバーにAPDをインストールする時に、32bit / 64bit版の両方のプリンタードライバーをインストールすると、32bit版OS / 64bit版OSのクライアントに対して共有プリンター環境を提供できます。

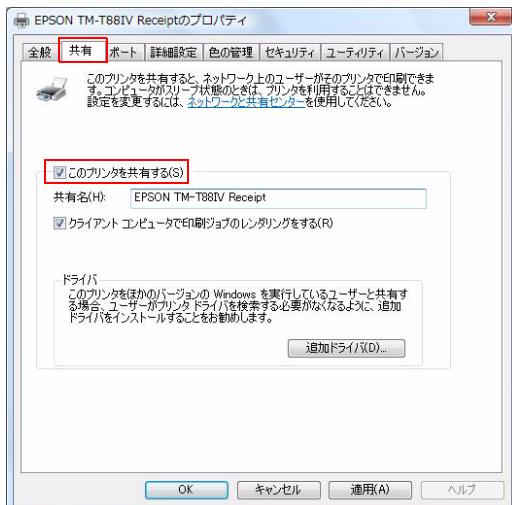
例えば、64bitサーバーにあらかじめ32bitのプリンタードライバーをインストールしておくと、32bitクライアントにもドライバーを提供できます。

インストール

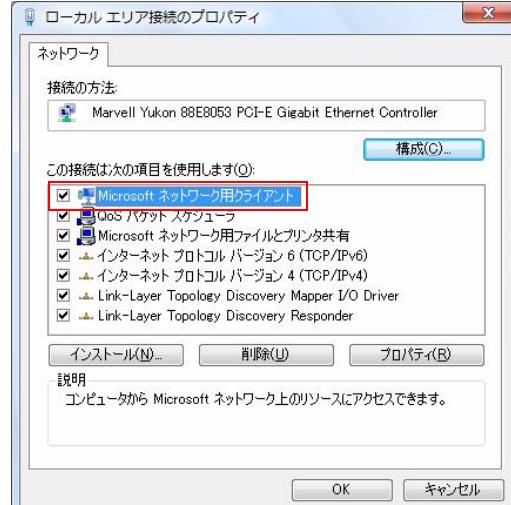
共有プリンターをインストールする前に、以下を確認してください。

- サーバーのプリンターが共有設定されていることを確認してください。
- クライアントコンピューターに、Epsonのドライバー / ユーティリティがインストールされている場合、それらのバージョンを確認してください。[\(15ページの「APD 4.5xx以降のAPDと他のドライバー / ユーティリティの共存について」を参照\)](#)
- サーバーおよびAPDをインストールするクライアントコンピューターに、Microsoftネットワーク用クライアントがインストールされていることを確認してください。

<プリンターの共有設定>
(サーバー)



<Microsoftネットワーク用クライアントの確認>
(サーバー / クライアント)

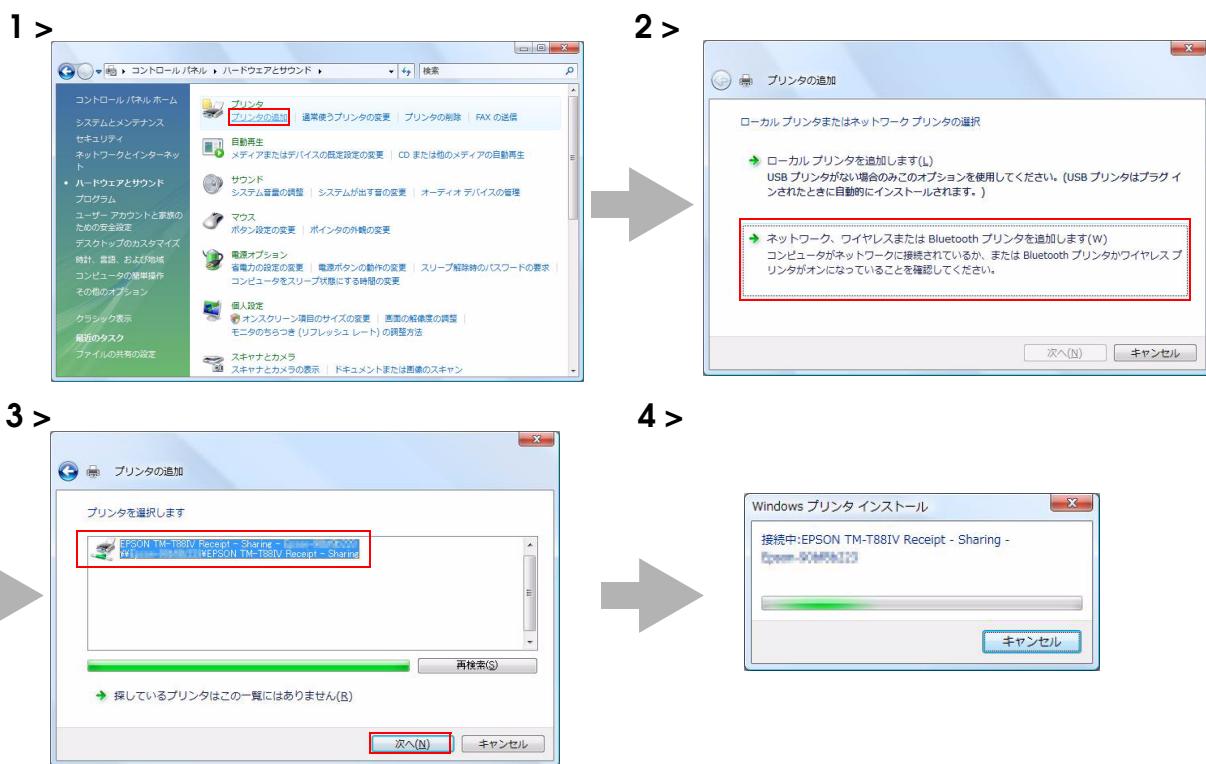


参考

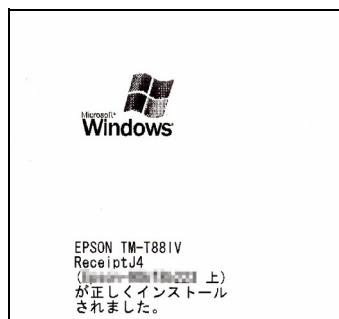
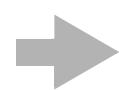
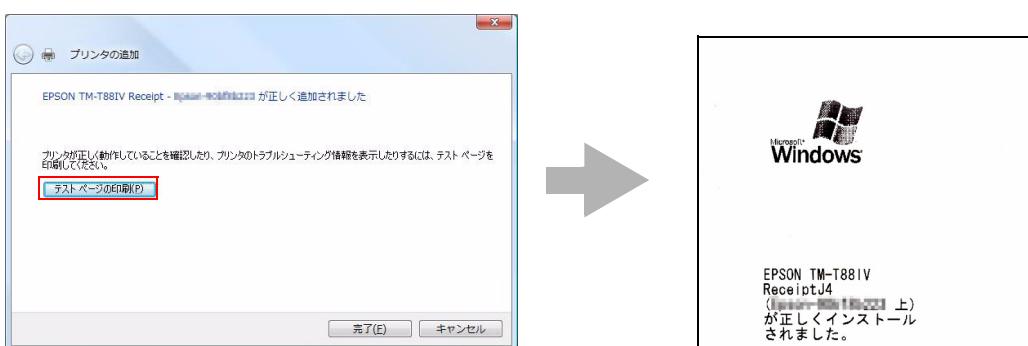
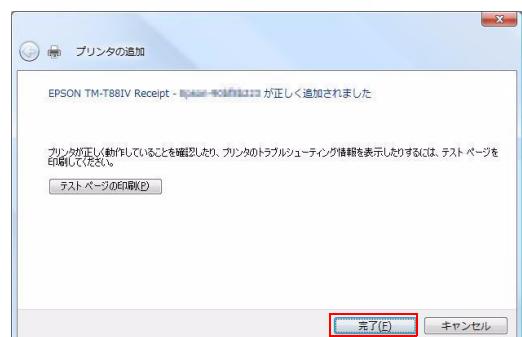
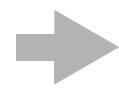
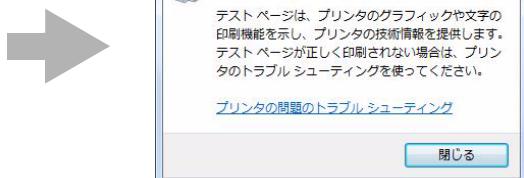
1台のクライアントで複数のユーザーが共有プリンターを使用する場合は、各ユーザーごとにインストールしてください。

クライアントでは、以下の手順でインストールします。

- 1** [スタート] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド]から[プリンタの追加]を選択します。(他の OS の参照先)
- 2** 「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタの選択」画面が表示されます。[ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetooth プリンタを追加します]を選択します。
- 3** 「プリンタを選択します」画面が表示されます。一覧表示されているプリンターから共有プリンターにするプリンターを選択し、[次へ] ボタンを押します。
- 4** 共有プリンターがインストールされます。



- 5** 共有プリンターがインストールされます。正常にプリンターが動作するか確認するために [テストページの印刷] ボタンを押します。
- 6** テストページの印刷結果確認画面が表示されます。正常にテスト印刷された場合は [閉じる] ボタンを押します。正常にテスト印刷されなかった場合は、[プリンタの問題のトラブルシューティング] を押して、Windows のメッセージに従って確認をしてください。
- 7** [完了] ボタンを押すと、共有プリンターのインストールが終了します。

5 >**6 >**

- 8** [スタート] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] ([他のOSの参照先](#)) からプリンタードライバーがインストールされていることを確認します。

アンインストール

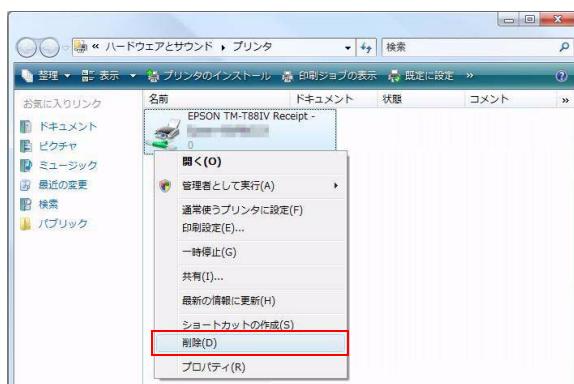
クライアントコンピューターから、共有プリンターをアンインストールする方法を説明します。

- ・ 共有プリンターを削除する [52 ページ](#)
- ・ APD をアンインストールする [53 ページ](#)

共有プリンターの削除

共有プリンターを削除します。次の手順で行います。

- 1 [スタート] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ]を選択します。[\(他の OS の参照先\)](#)
- 2 削除するプリンタードライバーを右クリックし、[削除]を選択します。



APD のアンインストール

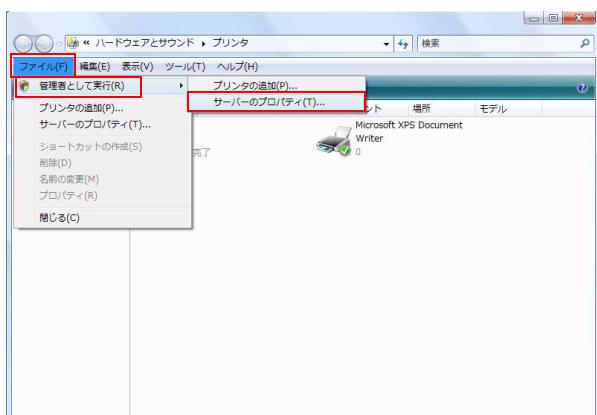
APD をアンインストールします。次の手順で行います。

注意

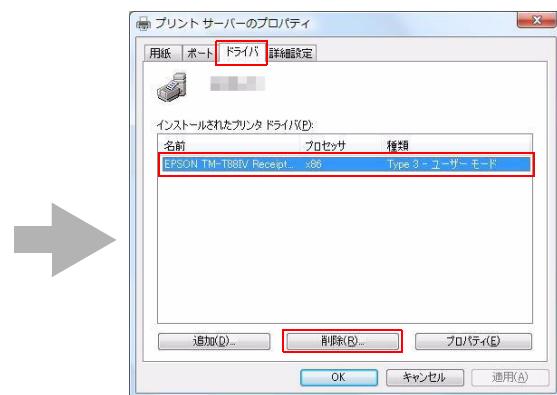
APD のアンインストールは、管理者ユーザーが行ってください。
標準ユーザーがアンインストールを行う場合、管理者ユーザーのパスワードが必要です。

- 1** すべての共有プリンターを削除します。[共有プリンターの削除 \(52 ページ\)](#) を参照してください。
- 2** [スタート] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] を選択します。[\(他の OS の参照先\)](#)
- 3** [ファイル] - [管理者として実行] - [サーバーのプロパティ] を選択します。[\(他の OS の参照先\)](#)
- 4** 「プリントサーバーのプロパティ」画面が表示されます。
[ドライバ] タブから、削除するプリンタードライバーを選択し、[削除] ボタンを押します。

3 >



4 >

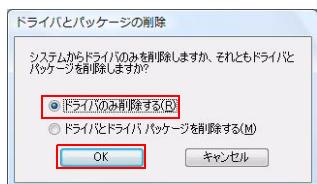


5 「ドライバとパッケージの削除」画面が表示されます。“ドライバのみ削除する”を選択し、[OK] ボタンを押します。

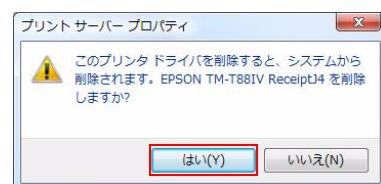
Windows XP の場合、手順 5 の画面は表示されません。手順 6 へ進みます。

6 「プリントサーバープロパティ」画面が表示されます。[はい] ボタンを押すと、手順 4 で選択したプリンタードライバーが削除されます。

5 >



6 >



7 [スタート] - [コントロール パネル] - [プログラムのアンインストール] を選択します。
(他の OS の参照先)

8 “EPSON APD4 Point and Print Support”を選択し、[アンインストール] ボタンを押します。“EPSON APD4 Point and Print Support”が削除されます。



9 “EPSON Port Communication Service”を選択し、[アンインストール] ボタンを押すと、“EPSON Port Communication Service”が削除され、APD のアンインストールが終了します。



インストール後のメンテナンス

APD をインストールした後のメンテナンス方法を説明します。

- プリンタードライバーを追加する 55 ページ
- プリンタードライバーを削除する 58 ページ
- TM プリンターを置き換える 59 ページ
- TM プリンターに IP アドレスを設定する 60 ページ
- プリンタードライバーのポート設定を変更する 62 ページ
- APD をアップグレードインストールする 64 ページ

プリンタードライバーの追加

全機種のプリンタードライバーの中から、使用するプリンタードライバーを以下の手順で追加します。

注意

[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリント] (他の OS の参照先) から、直接プリンタードライバーを追加することはできません。

- 1** 最小インストール、またはカスタムインストールで“プラグ&プレイで全機種のプリンターの追加を可能にする。”にチェックしなかった場合、APD のインストーラーのアイコンをダブルクリックします。
スタンダードインストールした場合、[スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [EPSON Advanced Printer Driver 4] - [APD4 の変更、削除、サイレントインストーラー作成] を選択します。
- 2** 「ようこそ」画面が表示されます。“カスタム”を選択し、[次へ] ボタンを押します。
- 3** 「プリンター設定」画面が表示されます。インストールする機種を選択するため、「追加」ボタンを押します。
- 4** 「プリンターの追加」画面が表示されます。追加するプリンタードライバーとポートを設定し、[次へ] ボタンを押します。

設定	説明
ドライバー選択	プリンタードライバーを選択します。
プリンターナー名	プリンタードライバーナー名です。 これは編集可能です。Unicode、2 バイト文字は使用できません。
ポート種別	TM プリンターを接続するインターフェースを選択します。 LPT 用ポートの作成： 手順 5 へ進んでください。 COM 用ポートの作成： 手順 6 へ進んでください。 Ethernet 用ポートの作成： 手順 7 へ進んでください。 USB 用ポートの作成： 手順 8 へ進んでください。
通常使うプリンターに設定	Windows のアプリケーションで、通常使うプリンタードライバーにするときにチェックします。

5 「パラレル設定」画面が表示されます。パラレルポートの設定をして、[次へ] ボタンを押します。手順 8 へ進んでください。

設定	説明
プリンター名	手順 4 で設定したプリンター名が表示されます。ここでは編集できません。
パラレルポート	TM プリンターを接続するパラレルポート番号を指定します。 通常は設定する必要がありません。

6 「シリアル設定」画面が表示されます。シリアルポートの設定をして、[次へ] ボタンを押します。手順 8 へ進んでください。

設定	説明
プリンター名	手順 4 で設定したプリンター名が表示されます。ここでは編集できません。
シリアルポート	TM プリンターを接続するシリアルポート番号を指定します。
ボーレート	通信速度を設定します。
データビット	データビットを設定します。
ストップビット	ストップビットを設定します。
フロー制御	コンピューターとシリアルデバイス間のデータフロー制御を設定します。
パリティ	パリティを設定します。

7 「Ethernet 設定」画面が表示されます。TM プリンターの IP アドレスを設定して、[次へ] ボタンを押します。手順 8 へ進んでください。

設定	説明
プリンター名	手順 4 で設定したプリンター名が表示されます。ここでは編集できません。
IP アドレス	TM プリンターの IP アドレスを設定します。 TM プリンターに IP アドレスを設定する方法については、 60 ページ「TM プリンターに IP アドレスを設定する」 を参照してください。

8 「プリンターセットアップ」画面に戻ります。手順 5 ～ 手順 7 で設定したプリンタードライバーが一覧表示されます。さらに追加する場合、以下の設定をします。
設定が終了したら [次へ] ボタンを押します。

- 複数のプリンタードライバーを追加する：
[追加] ボタンを押します。手順 5 ～ 手順 7 を繰り返します。
- 同じ機種のプリンタードライバーを複数追加する：
[コピー] ボタンを押します。手順 5 ～ 手順 7 を繰り返します。
(同時接続台数は 8 台、ドライバーのコピーは 100 台まで可能です。)

9 「機能の選択」画面が表示されます。コンピューターにインストールするAPDの機能を選択し、[次へ]ボタンを押します。以下の機能を選択できます。

機能	説明
環境	32bit プリンタードライバー 32bit版OS用のEPSONプリンタードライバーをサポートします。 64bit版OSからインストールした場合、選択できます。
	64bit プリンタードライバー 64bit版OS用のEPSONプリンタードライバーをサポートします。 32bit版OSからインストールした場合、選択できます。
	Status API .NET .NET環境でStatus APIをサポートします。
	Devmode API .NET .NET環境でDevmode APIをサポートします。
	ヘルプの言語 選択した言語のヘルプを表示可能にします。
ツール	TMfLogo TMプリンターにビットマップデータを登録する、TM Flashロゴ登録ユーティリティをインストールします。
	メモリースイッチ設定ツール プリンターのメモリースイッチの設定の確認や、変更するメモリースイッチ設定ツールをインストールします。
	TM-T88V Utility "TM-T88V Utility"をサポートします。(TM-T88Vを使用する時にのみ選択します。)
	TM-T20V Utility "TM-T20V Utility"をサポートします。(TM-T20Vを使用する時にのみ選択します。)
	電子ジャーナル 電子ジャーナル設定ユーティリティをインストールします。
	用紙レイアウト 用紙レイアウト設定ツールをインストールします。(TM-L90専用)
	ステータスピューワー ステータスピューワーをインストールします。(TM-C100専用) "ステータスピューワー"にチェックした場合、"自動実行"が選択可能になります。チェックした場合、ログイン時にステータスピューワーが自動起動します。
	Printer Network Setting Printer Network Settingをインストールします。
スタートメニューへショートカットを追加	スタートメニューにAPDのショートカットが追加されます。 初期値: チェックあり

10 「ファイルコピーの開始」画面が表示されます。“現在の設定”からインストールする内容を確認し、[次へ]ボタンを押します。

11 手順8で一覧に追加したプリンタードライバーが追加されます。

12 「メンテナンスの完了」画面が表示されます。
[完了]ボタンを押すと、プリンタードライバーの追加が終了します。

プリンタードライバーの削除

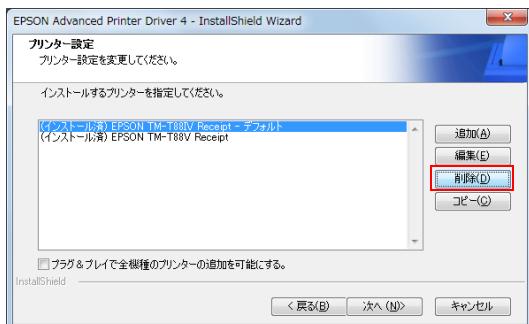
複数のプリンタードライバーがインストールされていて、使用しなくなったプリンタードライバーを削除する場合、以下の手順でプリンタードライバーを削除します。

注意

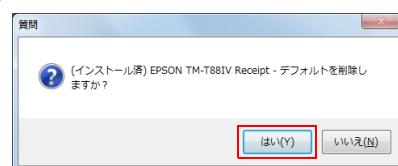
プリンタードライバーをすべて削除する場合、[アンインストール\(32ページ\)](#)を参照してください。

- 1** [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [EPSON Advanced Printer Driver 4] - [APD4 の変更、削除、サイレントインストーラー作成] を選択します。
- 2** 「ようこそ」画面が表示されます。“カスタム”を選択し、[次へ] ボタンを押します。
- 3** 「プリンター設定」画面が表示されます。一覧から削除したいプリンタードライバーを選択し、[削除] ボタンを押します。
- 4** 削除確認画面が表示されます。[はい] ボタンを押します。

3 >



4 >



- 5** 「プリンター設定」画面に戻ります。[次へ] ボタンを押します。
- 6** 「機能の選択」画面が表示されます。コンピューターにインストール済みの機能が自動的にチェックされます。削除したい機能がある場合、チェックを外します。[次へ] ボタンを押します。
- 7** 「ファイルコピーの開始」画面が表示されます。“現在の設定”から削除するプリンタードライバーを確認し、[次へ] ボタンを押します。
- 8** 手順 3～手順 5 で削除したプリンタードライバーが削除されます。
- 9** 「メンテナンスの完了」画面が表示されます。[完了] ボタンを押すと、プリンタードライバーの削除が終了します。

TMプリンターを置き換える

修理等で同じ機種、同じインターフェースの TM プリンターを置き換える場合には、以下の点に注意してください。

- どのインターフェースの場合でも、新しい TM プリンターのディップスイッチを、置き換え前の TM プリンターと同じに設定してください。
- TM プリンターにロゴを登録している場合、再登録しなおしてください。
- メモリースイッチを変更した場合、各 TM プリンターの製品同梱マニュアルか詳細取扱説明書を参照してください。

各インターフェースごとの置き換え設定は、以下のとおりです。

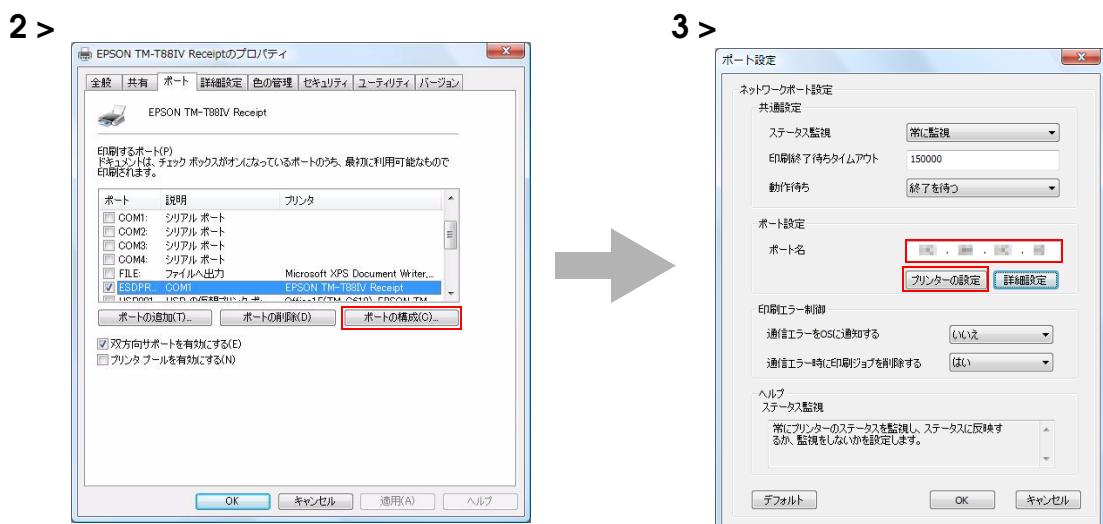
インターフェース	説明
パラレル	置き換え後の設定はありません。
シリアル	ディップスイッチまたはメモリースイッチにより、シリアル通信の設定値を合わせます。
USB	置き換え後の設定はありません。
Ethernet	IP アドレスを、置き換え前の TM プリンターに合わせます。

TM プリンターに IP アドレスを設定する

TM プリンターに IP アドレスを設定するには、最初にプリンタードライバーのポートの IP アドレスを設定し、それを TM プリンターに設定します。

以下の手順で設定します。

- 1** [スタート] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] から設定を変更するプリンタードライバーを右クリックし、[プロパティ] を選択します。
([他の OS の参照先](#))
- 2** TM プリンターのプロパティ画面が表示されます。[ポート] タブを選択し、[ポートの構成] ボタンを押します。
- 3** 「ポート設定」画面が表示されます。TM プリンターに設定する IP アドレスを指定し、[プリンタ設定] ボタンを押します。
- 4** 「プリンターのネットワーク設定の開始」画面が表示されます。[次へ] ボタンを押します。



5 以下の画面が表示されます。対象の TM プリンターを選択し、[設定] ボタンを押します。

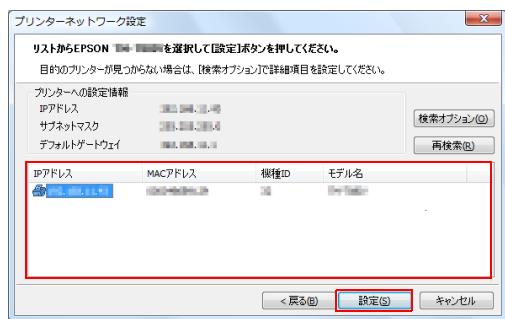
参考

- ・ [検索オプション] ボタンを押し、検索オプション設定機能を使うと、特定のネットワークから TM プリンターを検索できます。
- ・ 対象の TM プリンターが表示されない場合、[再検索] ボタンを押してください。
[再検索] ボタンを使っても表示されない場合、対象の TM プリンターがネットワークに接続されているか確認してください。

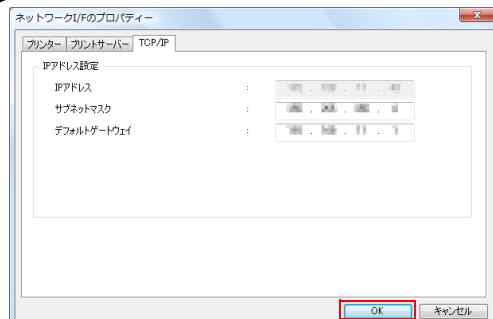
6 「ネットワーク I/F のプロパティー」画面が表示されます。対象の TM プリンターに設定するネットワーク設定を確認し、[OK] ボタンを押します。

7 確認画面が表示されます。[はい] ボタンを押します。

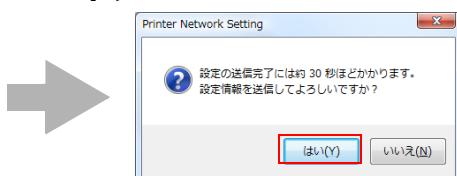
5>



6>

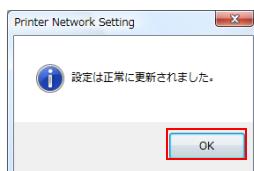


7 >



8 ネットワーク I/F のパスワード入力画面が表示されます。任意でパスワードを入力し、[OK] ボタンを押します。TM プリンターの IP アドレスの設定が開始されます。

9 以下の画面が表示されると、TM プリンターの IP アドレスの変更が終了です。[OK] ボタンを押し、終了します。



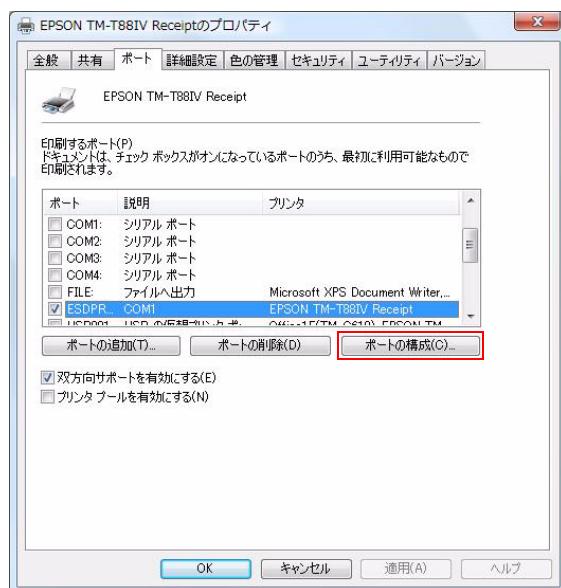
プリンタードライバーのポート設定を変更

以下のような場合に、プリンタードライバーのポート設定を変更します。

- シリアルインターフェイス：
シリアルポート、シリアル通信条件、Busy判定基準(他のドライバーとの共存時)、電源OFF判定タイムアウト時間
- イーサネットインターフェイス：
IP アドレス、その他通信条件

以下の手順で設定を変更します。

- [スタート] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ]から設定を変更するプリンタードライバーを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
([他の OS の参照先](#))
- TM プリンターのプロパティ画面が表示されます。[ポート] タブを選択し、[ポートの構成] ボタンを押します。

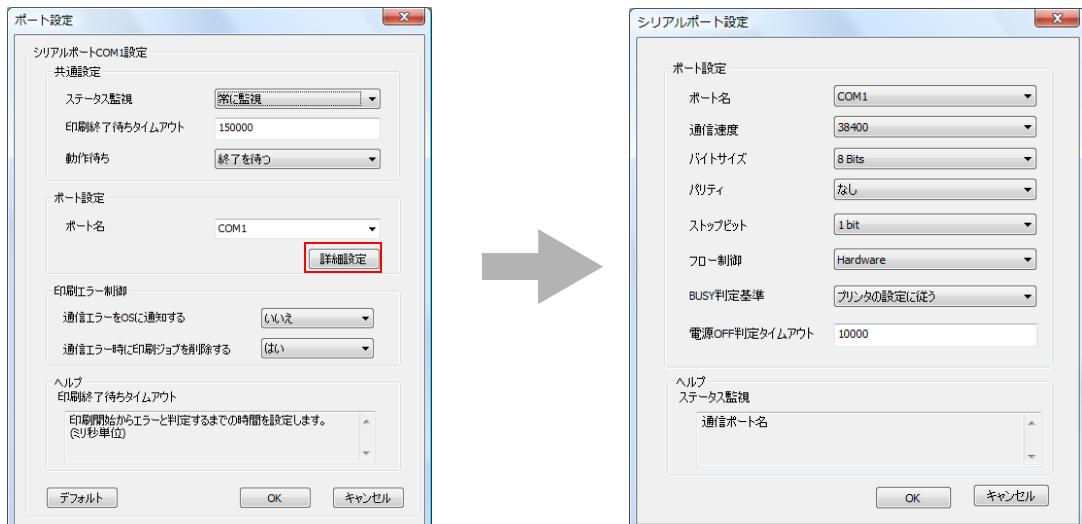


3

「ポート設定」画面が表示されます。ポートの設定を行います。

- シリアルの場合：

共通設定や印刷エラー制御を設定できます。[詳細設定] ボタンを押すと、「シリアルポート設定」画面が表示されます。

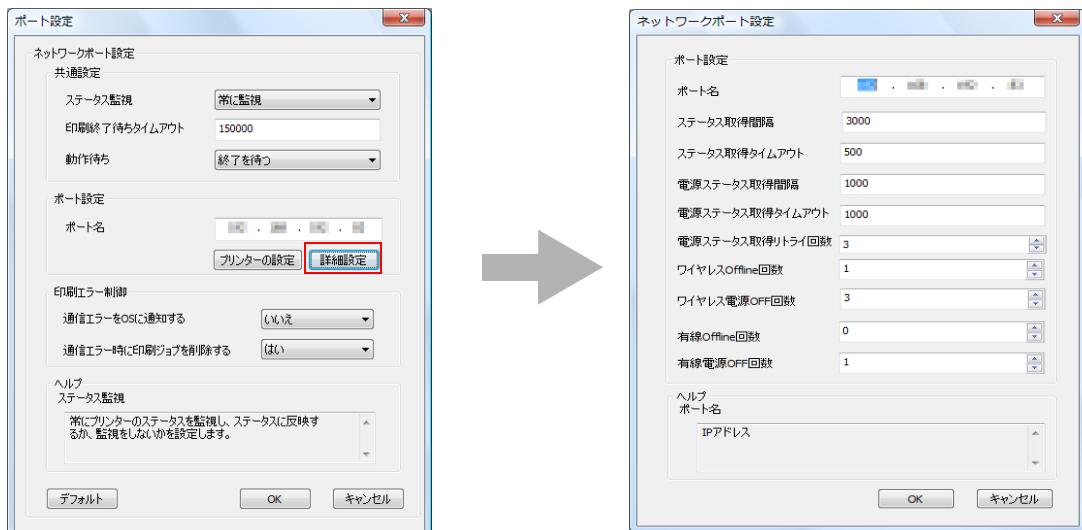


主な設定項目

設定項目	説明
ポート名	TM プリンターを接続する COM ポートを変更します。
通信条件	通信速度、バイト サイズ、パリティ、ストップビット、フロー制御を設定します。
Busy 判定基準 (初期値：プリンターの設定に従う)	OPOS と共に存させた場合などに、ドライバーを切り替えて印刷すると TM プリンターの再起動を求められることがあります。この場合は、TM プリンターの設定に従うを選択してください。
電源 OFF 判定タイムアウト (初期値：10000(10 秒))	アプリケーション側で早く判定したい場合は設定を変更してください。

- イーサネットの場合：

共通設定や印刷エラー制御を設定できます。また、IP アドレスも変更できます。詳細なネットワーク設定をする場合、[詳細設定] ボタンを押すと、「ネットワークポート設定」画面が表示されます。ヘルプを参照して設定してください。

**4**

プロパティ画面に戻り、[OK] ボタンを押すと、変更した設定が有効になります。

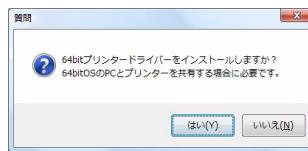
APD をアップグレードインストールする

APD の新しいバージョンをアップグレードインストールします。

- 1 APD のアイコンをダブルクリックし、インストールを開始します。
- 2 InstallShield Wizard 画面が表示されます。[警告] を確認します。
コンピューターの環境を確認し、インストールを継続する場合は、[次へ] ボタンを押します。(15 ページの「APD 4.5xx 以降の APD と他のドライバー / ユーティリティの共存について」を参照)
- 3 「使用許諾契約」画面が表示されます。内容を確認して「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、[次へ] ボタンを押します。
- 4 APD の新しいバージョンにアップグレードするかの質問画面が表示されます。
[はい] ボタンを押します。

参考

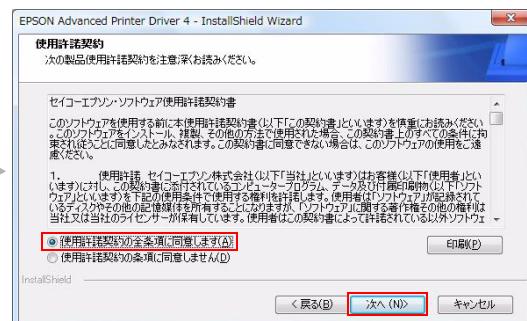
APD4.06a 以前のバージョンをアップグレードインストールする場合、64bit 版プリンタードライバーをインストールするかの質問画面が表示されます。[はい] ボタンを押すと 64bit 版 OS のクライアントにも、共有プリンター環境を提供できます。



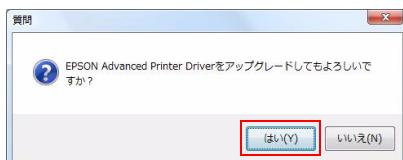
2 >



3 >



4 >



5 「プリンター設定」画面が表示されます。[次へ] ボタンを押します。

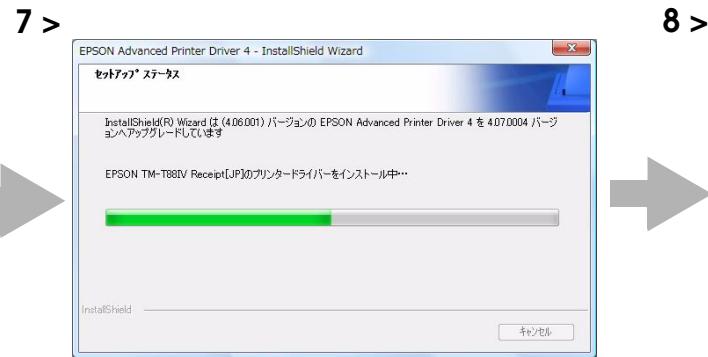
参考

プリンタードライバーを追加する場合、[追加] ボタンを押します。

6 「アップグレードの開始」画面が表示されます。“現在の設定”からインストールする内容を確認し、[次へ] ボタンを押します。

7 APD がアップグレードインストールされます。

8 「アップグレードの完了」画面が表示されます。[完了] ボタンを押すと、アップグレードインストールが完了します。



サイレントインストール

本章では、サイレントインストールの方法について説明しています。

サイレントインストールとは？

サイレントインストールとは、既にセットアップされているAPDの環境を、ユーザーの操作無しに他のコンピューターに簡単にコピーすることです。以下の2つの方法があります。

□ サイレントインストールパッケージ (*.exe) を使う

コピー元のコンピューターで、サイレントインストールパッケージを作成します。

- このファイルを別のコンピューターで実行すると、コピー元のコンピューターのAPD環境のうち、動作させるのに必要最小限のAPD環境をインストールできます。
- このファイルでサイレントインストールした環境からは、サイレントインストールパッケージやサイレントインストール用スクリプトファイルを作成したり、別のプリンターを追加したりすることはできません。

□ サイレントインストール用スクリプトファイル (*.inf) を使う

コピー元のコンピューターで、サイレントインストール用スクリプトファイルを作成します。

- このファイルとAPDファイル(APD_4xxJ.exe)を別のコンピュータにコピーして実行すると、コピー元のコンピューターのAPD環境を完全にインストールできます。
- このファイルでサイレントインストールした環境からは、サイレントインストールパッケージやサイレントインストール用スクリプトファイルの作成ができますし、別のプリンターも追加できます。

この機能を使って、バッチファイルやOSのリカバリディスク、アプリケーションのインストーラーに、APDのインストールを組み込むことができます。

また、サイレントインストールするときに、コマンドオプションを付加して、以下の機能を実現できます。

- インストール完了の通知
- インストール完了後の再起動の設定
- アップグレードインストールの設定
- 画面表示なしのアンインストール

注意

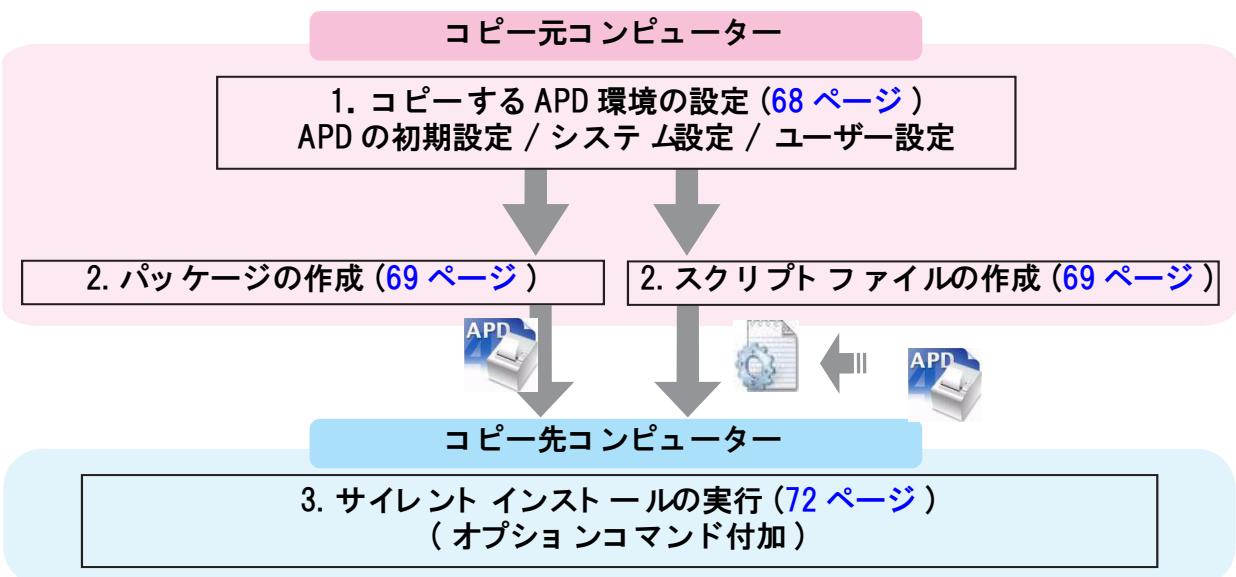
- サイレントインストールをご利用になる場合は、インターネットエクスプローラーVersion 4.0以降が必要です。
- コピーされるコンピューターに既に、APD3、APD4がインストールされている場合、アンインストールしてから、サイレントインストールしてください。

以下の場合に便利な機能です。

- 同じ設定のコンピューターを複数セットアップする場合、セットアップにかかる作業を軽減できます。
- ディスプレイを持たない環境にもセットアップができます。
- コンピューターに印刷関連の不具合が発生した場合、そのコンピューターのサイレントインストール用スクリプトファイルを入手すれば、不具合が発生したコンピューターのAPD環境を別のコンピューターで再現できるので、サービスメンテナンス性を向上できます。（サイレントインストールパッケージでサイレントインストールした環境は、サイレントインストール用スクリプトファイルを作成できません。）

サイレント インストールの流れ

サイレントインストールの流れは以下のとおりです。



コピーする APD 環境の設定

コピー元コンピューターで、サイレントインストールする APD の環境を作成します。

コピーする APD の環境は以下から選択できます。

- APD の初期設定
APD をインストールしたときの設定です。
- システム設定
プリンターのシステム設定です。
- ユーザー設定
プリンターのユーザー設定です。コピー元ユーザーの設定になります。

APD の設定

プリンターのシステム設定またはユーザー設定をコピーする場合、「設定ガイド プリンター編」を参照して、設定します。

システム設定をセットアップする場合

[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] よりプリンターを右クリックし、[プロパティ] - [詳細設定] - [標準の設定] から設定します。(他の OS の参照先)

ユーザー設定をセットアップする場合

[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] よりプリンターを右クリックし、[プロパティ] - [全般] - [印刷設定] から設定します。(他の OS の参照先)

パッケージ / スクリプトファイルの作成

サイレントインストールパッケージ、サイレントインストール用スクリプトファイルを作成します。

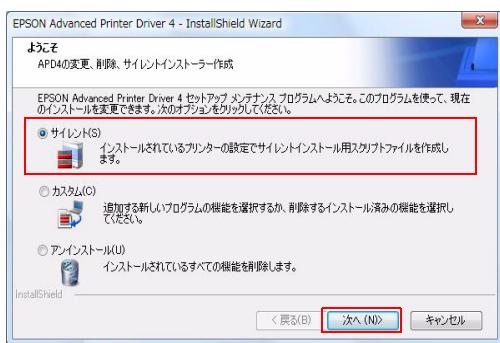
最初にコピー元コンピューターで、APD のどの環境をコピーするか確認してください。(68 ページの「[コピーする APD 環境の設定](#)」を参照)

以下の手順で作成します。

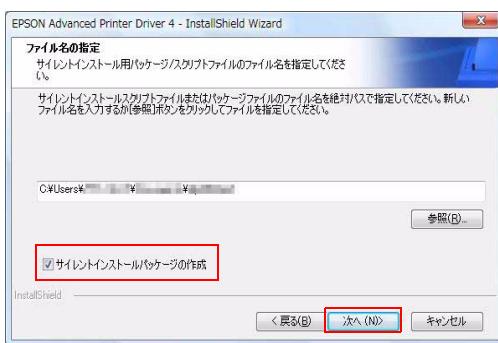
- 1** [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [EPSON Advanced Printer Driver 4] - [APD4 の変更、削除、サイレントインストーラー作成] を選択します。
- 2** 「ようこそ」画面が表示されます。“サイレント”を選択し、[次へ] ボタンを押します。
- 3** 「ファイル名の指定」画面が表示されます。保存場所とファイル名を指定し、作成するファイルをサイレントインストールパッケージまたはサイレントインストール用スクリプトファイルかを選択します。[次へ] ボタンを押します。

設定	説明
保存する場所とファイル名	作成するファイルの保存場所とファイル名を指定します。
サイレントインストールパッケージの作成	<ul style="list-style-type: none"> • サイレントインストールパッケージを生成する場合は、チェックを付けます。 • サイレントインストール用スクリプトファイルを生成する場合は、チェックを外します。 <p>(初期値はチェックされています。)</p>

2 >



3 >

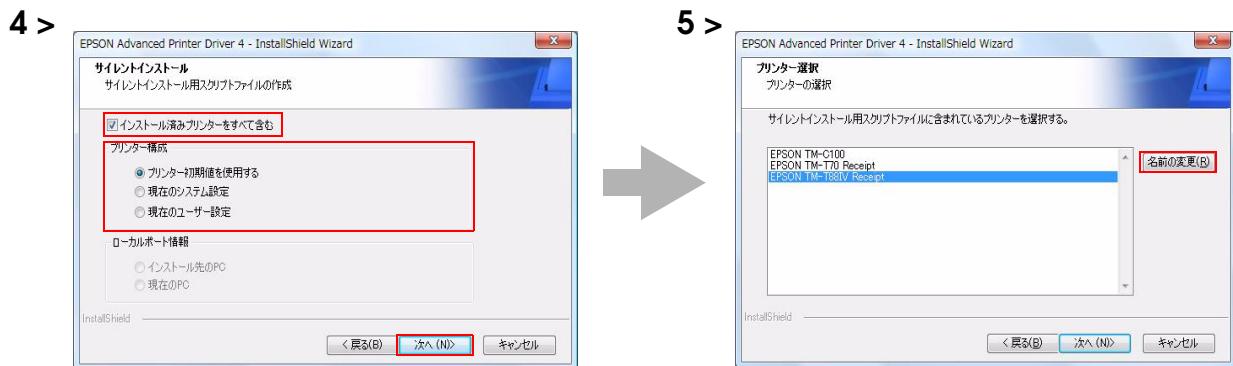


3

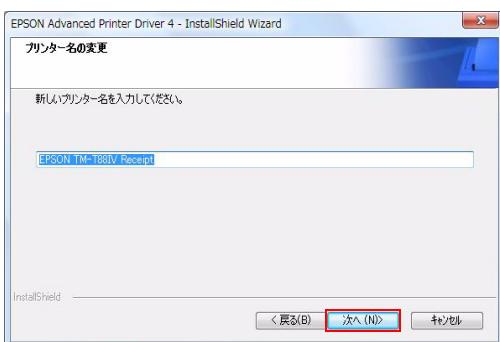
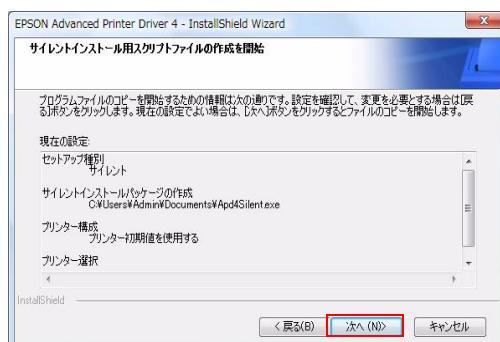
- 4** 「サイレントインストール」画面が表示されます。[プリンター構成] からコピーする設定を選択し、インストールするプリンターを選択します。コピー元コンピューターにあるすべてのプリンター (APD でインストールしたプリンター) を選択しない場合は、「インストール済みプリンターをすべて含む」のチェックを外します。[次へ] ボタンを押します。
- [プリンター構成] の設定は、コピー先プリンターの初期値になります。複数のプリンターをインストールする場合、プリンターごとのプリンター構成は変更できません。
 - [インストール済みプリンターをすべて含む] にチェックした場合、手順 7 へ進みます。

設定	説明
インストール済みプリンターをすべて含む	チェックを付けた場合、コピー元コンピューターにインストールされている APD のプリンターをすべて選択されます。 チェックを外すと、コピー元コンピューターにインストールされている APD のプリンターを選択できます。 (初期値はチェックされています。)
プリンター構成	コピーするプリンターの設定を選択します。
プリンター初期値を使用する	APD をインストール時の設定です。
現在のシステム設定	プリンターのシステム設定です。 プリンターの (プロパティ) - (詳細設定) - (標準の設定) から参照できます。
現在のユーザー設定	プリンターのユーザー設定です。 プリンターの (プロパティ) から参照できます。
ローカルポート情報	選択できません。

- 5** 「プリンター選択」画面が表示されます。コピーするプリンタードライバーを選択します。プリンター名を変更する場合は、[Rename] ボタンを押します。プリンター名を変更しない場合は、[次へ] ボタンを押します。手順 7 に進みます。



- 6** 「プリンター名の変更」画面が表示されます。プリンター名を変更し、[次へ] ボタンを押します。
- 7** 「サイレントインストール用スクリプトファイルの作成を開始」画面が表示されます。“現在の設定”から作成するファイルの内容を確認し、[次へ] ボタンを押すとサイレントインストールパッケージ / サイレントインストール用スクリプトファイルが作成されます。

6 >**7 >**

- 8** 「メンテナンスの完了」画面が表示されます。[完了] ボタンを押します。サイレントインストールパッケージ / サイレントインストール用スクリプトファイルが、手順 3 で指定した場所に作成されています。

3

サイレント インストールの実行

以下の方法でサイレントインストールできます。

- コピー先コンピューターでサイレントインストールパッケージを実行
- コピー先コンピューターに、サイレントインストール用スクリプトファイルと APD ファイルをコピーして、コマンドプロンプトからコマンドを実行
- バッチファイルや、APD 組み込み用アプリケーションを開発して実行

サイレント インストール方法

サイレントインストールする方法は以下のとおりです。

サイレント インストールパッケージからインストール

コピー先コンピューターにサイレントインストールパッケージをコピーし、以下のコマンドを実行します。

>(パッケージファイル名 (フルパスで記述))

例： D:\APD4\Apd4Silent.exe

パッケージファイルを使ったサイレントインストール結果は、[スタート] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] からプリンタードライバーがインストールされていることを確認します。

サイレント インストール用スクリプト ファイルからインストール

コピー先コンピューターに、サイレントインストール用スクリプトファイルと APD ファイルをコピーし、以下のコマンドを実行します。

>(APD_4xxJ.exe (フルパスで記述)) (/s /f1"スクリプトファイル名 (フルパスで記述)")

例： D:\APD4\APD_400J.exe /s /f1"D:\APD4\Apd4Silent.inf"

インストール結果の確認

サイレントインストールパッケージ/サイレントインストール用スクリプトファイルのサイレントインストール結果は、サイレントインストールパッケージ / サイレントインストール用スクリプトファイルと同じ場所に生成される "APD4SilentSetup.log" の "Result Code" で確認できます。

"Result Code" の内容は以下のとおりです。

Result Code	内容
0	正常にインストールされました。
-3	すでに APD がインストールされています。
2	サイレントインストールに必要なファイルが見つかりません。
1151	APD がサポートされていない OS でサイレントインストールされました。
1223	ユーザーがインストールをキャンセルしました。

コマンドオプション

サイレントインストールに付け加えられる機能のコマンドオプションと設定方法は以下のとおりです。

参考

コマンドオプションは組み合わせて使用できます。

/s /f1 : スクリプトファイルを使ってサイレントインストール

サイレントインストール用スクリプトファイルを使ってサイレントインストールします。

詳細は、[72ページ「サイレントインストール用スクリプトファイルからインストール」](#)を参照してください。

/s /a : アップグレード

APDをアップグレードします。APD4で未サポートのプリンターは削除されます。

使用例

D:\APD4\APD_406J.exe /s /a

/uninstall : サイレントアンインストール

コマンドラインからAPDをアンインストールします。

使用例

D:\APD4\APD_400J.exe /s /uninstall

参考

"/s"をつけない場合、アンインストール画面が表示されます。

/d : サイレントインストール結果をダイアログ表示

インストール終了時に、サイレントインストール結果をダイアログで表示します。

使用例

パッケージファイル

D:\APD4\Apd4Silent.exe /d

スクリプトファイル

D:\APD4\APD_400J.exe /s /f1 "D:\APD4\Apd4Silent.inf" /d

/w /m: サイレント インストール完了をウィンドウメッセージに通知

コマンドに Windows ハンドルとメッセージ ID を付加して、サイレントインストール完了をウィンドウメッセージで通知します。

使用例

以下は、Windows ハンドルが 0x6789abc、メッセージ ID が 0x0501 です。

パッケージファイル

D:¥APD4¥Apd4Silent.exe /w6789abc /m0501

スクリプトファイル

D:¥APD4¥APD_400J.exe /s /f1"D:¥APD4¥Apd4Silent.inf" /w6789abc /m0501

/r: インストール後の再起動の設定

サイレントインストール完了後の OS の再起動を設定します。

再起動する場合の使用例

パッケージファイル

D:¥APD4¥Apd4Silent.exe /rY

スクリプトファイル

D:¥APD4¥APD_400J.exe /s /f1"D:¥APD4¥Apd4Silent.inf" /rY

再起動しない場合の使用例

パッケージファイル

D:¥APD4¥Apd4Silent.exe /rN

スクリプトファイル

D:¥APD4¥APD_400J.exe /s /f1"D:¥APD4¥Apd4Silent.inf" /rN

/l: インストールログファイル名の指定

インストールログ (Apd4Setup.log) の出力先とファイル名を指定します。通常は Windows フォルダーに出力されます。

使用例

パッケージファイル

D:¥APD4¥Apd4Silent.exe /l"D:¥APD4¥log.txt"

スクリプトファイル

D:¥APD4¥APD_400J.exe /s /f1"D:¥APD4¥Apd4Silent.inf" /l"D:¥APD4¥log.txt"

/P: 接続先 IP アドレスを指定

プリンタードライバーの接続先の IP アドレスを指定します。イーサネット接続時に指定できます。

使用例

パッケージファイル

D:¥APD4¥Apd4Silent.exe /P192.168.192.168

スクリプトファイル

D:¥APD4¥APD_400J.exe /s /f1"D:¥APD4¥Apd4Silent.inf" /P192.168.192.168